

北海道のサクラ最前線

～ 育てかたと名所 ～



平成15年4月作成

平成16年4月一部正誤

北海道立林業試験場

はじめに

春になると、沖縄からスタートした桜前線は北上を続け、テレビや新聞では連日、各地の開花の様子を伝えます。そして北海道には、5月初旬に津軽海峡をわたって渡島半島に上陸し、北上と東進を続け、平地でもっとも遅い根室には5月下旬に到着します。その後、桜前線は山に駆け上がり、大雪山系の旭岳など遅いところでは6月下旬頃までサクラを楽しむことができます。

サクラの名所は全国各地にあります。道内各地にも古くから名所・名木が知られており、それぞれの地域で、現在も引き続き親しまれております。しかし近年、地域開発などによる自然環境の悪化により、各地のサクラの名所・名木にも衰退がみられております。これに対し、それぞれの地域においてもさまざまな対策が講じられていますが、その多くは私達の都合を考えた一時的なもので、サクラという樹木の立場に即した、長期的な対応はこれまでのところ余り行われていません。

そこで、サクラの立場になって、樹木を知りサクラを楽しみ、より適切に維持管理を行うことを目的に、道内各地域に適するサクラ類の樹種や品種、サクラのふやし方や病虫害の防除のしかたなどについてまとめました。各地のサクラの名所をさらにふやし、適切に管理することは、現代に生きる私達のためだけでなく、子孫に大きな財産を残すという意味においても極めて重要なことと考えられます。

本書は、緑化樹センターを中心とした平成14年度林業試験場研究普及会議サクラ育成技術部会が、関係市町村のサクラの担当者や森づくりセンターの職員など、多くの方々の協力を得ながら、これまでの多くの調査結果や参考文献をもとに、サクラを育てるための業務参考資料としてまとめました。本書によって、サクラに関する正しい知識を身につけ、サクラをより楽しんでいただきたいと願っております。

(研究普及会議サクラ育成技術部会)

も く じ

I 北海道で育つサクラにはどのような種類がありますか？

- 1 サクラとは？…………… 1
- 2 サクラ属の分類…………… 1
- 3 日本のサクラの種類…………… 2
- 4 北海道に植えられているサクラの種類と特徴…………… 3

II 地域によって育つサクラは違いますか？

- 1 樹種ごとの地域適応性…………… 11

III サクラの種類によって花が咲く時期は違いますか？

- 1 樹種ごとの開花特性…………… 15
- 2 樹種による開花時期の違い…………… 18

IV サクラをふやすにはどのようにするのですか？

- 1 タネからのふやしかた…………… 19
- 2 つぎ木によるふやしかた…………… 23
- 3 さし木によるふやしかた…………… 25
- 4 組織培養によるふやしかた…………… 27
- 5 苗木の育てかた…………… 29

V サクラの根はどのようなになっていますか？

- 1 根のはたらき…………… 31
- 2 根と地上部との成長の違い…………… 31
- 3 エゾヤマザクラの根の特性…………… 32

VI サクラはどのような土に植えたら良いのですか？

- 1 サクラの生育不良地の主な原因…………… 35
- 2 土壌の適正診断と改良のしかた…………… 39
- 3 植栽地の客土，耕耘のしかた…………… 41

VII サクラはいつ植えたら良いのですか？

- 1 苗木の選びかた…………… 43

- 2 植えつけの時期…………… 45

- 3 植えつけのしかた…………… 48

VIII サクラを植えた後の管理はどのようにするのですか？

- 1 支柱の設置と管理のしかた…………… 49
- 2 整枝・剪定の時期としかた…………… 51
- 3 冬囲いのしかた…………… 51
- 4 施肥のしかた…………… 52
- 5 灌水のしかた…………… 52

IX サクラの病気や虫害にはどのようなものがありますか？

- 1 主な病害の診断と防除のしかた…………… 53
- 2 主な虫害の診断と防除のしかた…………… 57
- 3 主な獣害の診断と防除のしかた…………… 62

X サクラの苗木はどのくらい作られていますか？

- 1 苗木の養成本数…………… 63
- 2 植えられた本数…………… 64
- 3 苗木の購入のしかた…………… 64

XI 北海道のサクラの名所はどこにありますか？

- 1 名所の所在地と概要…………… 65
- 2 北海道のサクラの名所一覧表…………… 109

参考文献…………… 112

執筆，編集，写真提供者他…………… 116

コラム：サクラの名前のいわれ(1)，学名と和名(2)，一重・八重・菊咲き(8)，誕生花(9)，ヤエザクラは総称(10)，サクラは他家受精(14)，花の寿命(17)，二度咲くサクラ(24)，さくら餅(31)，ドベネックの樽(36)，黄色い花のサクラ(41)，サクラの狂い咲き(42)，道内でみられる太いサクラ(43)，サクラの寿命(44)，緑色の花のサクラ(46)，桜吹雪(50)，蜜腺(55)，さくら湯(56)，桜切る馬鹿(108)

I 北海道で育つサクラにはどのような種類がありますか？

1 サクラとは？

サクラは、植物の分類上ではバラ科サクラ属を指します。しかし、一般に「サクラ」と呼ぶときには、サクラ属全体でなく、特にサクラ亜属の中のサクラ節を指すことが多いようです。したがって、この小冊子でいう「サクラ」とはサクラ節を意味します。

このようにサクラ属は、つぎに示すような亜属と節に分けられています。しかし、これら節や亜属などの補助的な階級は、植物を分類するうえでは必ずしも使う必要はありません。

2 サクラ属の分類

- モモ亜属：モモ、ヘントウ（アーモンド）
- スモモ亜属
 - スモモ節：スモモ、セイヨウスモモ
 - アンズ節：アンズ、ウメ
- ウワミズザクラ亜属：ウワミズザクラ、シウリザクラなど
- バクチノキ亜属：バクチノキ、セイヨウバクチノなど
- サクラ亜属
 - ユスラウメ節：ユスラウメ、ニワウメなど
 - サクラ節：エゾヤマザクラ、チシマザクラ、カスミザクラ、オオシマザクラなど
 - ミヤマザクラ節：ミヤマザクラ
 - セイヨウミザクラ節：セイヨウミザクラ（サクランボ）

サクラの名前のいわれ

サクラは、花が一斉に咲くときはまことにあざやかで、いかにも「咲く」という感じがします。サクラのいわれは、これに由来し“咲く”という言葉に「群がる」の略の“ラ”という字がついた呼び名である、との説があり、ほかにも多くの説があります。

3 日本のサクラの種類

日本の野生のサクラには、チョウジザクラ、マメザクラ、エドヒガン、ヒカンザクラ、ミネザクラ（別名タカネザクラ）、オオシマザクラ、エゾヤマザクラ（別名オオヤマザクラ）、ヤマザクラ、カスミザクラの9種があります。このうち、エゾヤマザクラ、カスミザクラ、ミネザクラの3種が北海道に自生しています。なおチシマザクラは、ミネザクラと同じ仲間で、その変種です（下記コラム参照）。

また、エドヒガン、オオシマザクラ、カスミザクラ、ヤマザクラなどを母樹として、古くから多くの園芸品種が作り出されてきています。その数は、300種以上にのぼりますが、一説には2,000種とも3,000種ともいわれています。これら改良された園芸品種全体を称し、山に生えている「ヤマザクラ（山桜）」に対して、人里に植えられていることから「サトザクラ（里桜）」と呼んでいます。

また、日本を代表するサクラで、全国各地に植えられているものにソメイヨシノがあります。

学名と和名、別名

北海道を中心に分布しているミネザクラは、別名タカネザクラとも呼ばれていますが、これらの名前はいずれも「和名」です。

世界共通の名前(学名)は、ラテン語を用い、属名と種小名の二命名法で表し、その後に命名者名を書き添えます。例えば上記のミネザクラの学名は、*Prunus nipponica* MATSUM. と表し、*Prunus*がサクラ属であること、*nipponica*がミネザクラであること、さらにMATSUMURAさんが命名したことを示しています。また、ミネザクラの変種であるチシマザクラの学名は、上記に続けて、var. *kurilensis* (MIYABE) WILSON と表し、var.がミネザクラの変種であることを、WILSONさんが変種を命名したことを示しております。なお、学名では、命名者を省略したり、短く表すこともあります。

4 北海道に植えられているサクラの種類と特徴

北海道で植えられているサクラには、道内にもともと生えているエゾヤマザクラ、カスミザクラ、チシマザクラのほか、ソメイヨシノ、サトザクラ、シダレザクラなどがみられます。このほか、フジザクラ（別名マメザクラ）やチョウジザクラなどもまれに植えられていますが、本数はあまり多くありません。

また、道内でこれまでに作り出されたサクラの登録品種には、‘釧路八重’と‘大雪’があります。以下に、主な樹種・品種の特徴を紹介します。

(1) 北海道にもともと生えているサクラ

① エゾヤマザクラ（オオヤマザクラ） *Prunus sargentii* REHDER

- ・北海道の代表的なサクラで、樹高は 15 ～ 20 m になり、寒さに強いので道内ではもっとも広く植えられています。
- ・花は5月上旬～下旬に咲き、色は淡紅～紅色、径 2.5 ～ 4 cm で、花びらは5枚あります。花と葉はほぼ同時に出てきます。
- ・果実は球形で径 5 ～ 7 mm、7月頃に赤色から黒色になって熟します。
- ・苗木は、タネや組織培養でふやします。
- ・主な植栽場所は、静内町二十間道路、札幌市北海道神宮、小樽市長橋なえぼ公園のほか、各地の公園や学校などに植えられています。



写真－1－1 エゾヤマザクラの花（上）
と樹形（左）

② カスミザクラ *Prunus verecunda* KOEHN

- ・エゾヤマザクラよりも1週間から10日間前後遅く咲くサクラで、成長すると高さ 15m ほどになります。
- ・花は5月中～下旬頃に咲き、色はほとんどが白～微淡紅色ですが、初め白色でのち淡紅色なる個体もあります。
- ・果実は球形で、径 5 ～ 7 mm、7月に赤色から黒色になって熟します。
- ・苗木は、タネまたは組織培養でふやします。
- ・主な植栽場所は、江別市大麻駅付近のJR函館線沿い、静内町二十間道路などです。大麻駅付近ではエゾヤマザクラと混じって植えられており、JRの線路をまたぐ歩行者用の跨線橋から眺めることができます。静内町二十間道路では、エゾヤマザクラが散ったあとに行くと、開花している多くの個体がみられます。
- ・まだあまり知られていないサクラで、まれにエゾヤマザクラに混じって植えられています。エゾヤマザクラとの見分けかたは、エゾヤマザクラの花柄はほとんど根元から分かれて出ていますが、カスミザクラは柄の途中から分かれて出ます。また、芽吹き時の若葉の色はエゾヤマザクラでは赤褐色ですが、カスミザクラは淡緑色をしています。



写真－1－2 カスミザクラの花（上）
と樹形（左）

③ ミネザクラ (タカネザクラ) *Prunus nipponica* MATSUM.

- ・日本で最も北地、高地に生えているサクラで、幹は直立せず、根元から分かれて枝が横に広がり、その広がり大きなものでは 10 mほどになります。
- ・花は平地では5月上旬～中旬、山地では6月上旬～7月上旬に咲き、色は微淡紅～淡紅色ですが、まれに濃い紅色のものもみられます。花の大きさは2～2.5cmで、花に芳香があります。
- ・果実は球形で直径5～7 mm、6月下旬から8月にかけて黒く熟します。
- ・苗木は、タネまたはさし木、組織培養でふやします。
- ・主な植栽場所は、根室市清隆寺・明治公園、幌加内町朱鞠内湖畔、札幌文化交流会館などです。
- ・この変種にチシマザクラ (*P. n.* var. *kurilensis* WILSON) があり、母種と変種の区別点は、葉柄や花柄に毛がないものをミネザクラ、毛が多いものをチシマザクラと呼んでいます。しかし、毛の多少は連続的で、母種と変種の間に明確な区別が難しい場合があります。そのため、緑化樹として扱う場合は、チシマザクラの名称でかまわないでしょう。



写真－１－３ チシマザクラの樹形(左)と花(右)

(2) 本州などから持ち込まれた主なサクラ

① ソメイヨシノ *Prunus × yedoensis* MATSUM.

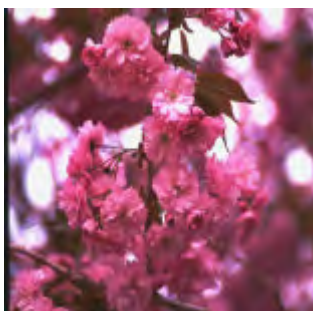
- ・日本の代表的なサクラで、道内では高さ 10m ほどまで成長します。
- ・花は5月上旬～中旬に咲き、花の大きさは 2.5 ～ 4 cm、色は淡紅色ですが、エゾヤマザクラに比べるとかなり白っぽく感じられます。
- ・果実は球形で、径 7 mm ほど、6～7月に黒く熟しますが、結実量は多くありません。
- ・苗木は、主にさし木でふやします。
- ・主な植栽場所は、函館市五稜郭公園、小樽市手宮公園、美唄市東明公園などで、まれに個人の庭にも植えられています。
- ・江戸末期に江戸駒込の染井村の植木屋で売り出されたもので、エドヒガンとオオシマザクラの雑種といわれています。全国各地に広く植えられ、開花予想の標準木としてもっとも多く用いられています。



写真－１－４ ソメイヨシノの樹形(左)と花(右)

② サトザクラ *Prunus lannesiana* WILSON

- ・園芸的に作り出された多くの品種の総称で、成長すると木の高さは 10 ～ 15m になります。通称ヤエザクラとも呼ばれていますが、正しい名前ではありません。道内でみられる主なものには‘^{かんざん}関山’‘^{しろたえ}白妙’‘^{うこん}鬱金’‘^{ぎょいこう}御衣黄’‘^{なでん}南殿’などがあります。
- ・花は 5 月中～下旬に咲き、色は白～淡紅～紅～緑黄色などさまざまで、花びらの数も 5 枚のものから 250 枚以上の菊咲きまであります。
- ・果実は、黒色で球形をしており、まれに結実しますが通常はほとんど結実しません。
- ・苗木は、主につぎ木でふやします。
- ・主な植栽場所は松前公園、札幌市農試公園、百合が原公園などですが、個人の庭にもよく植えられています。



‘ 関山 ’



‘ 松月 ’



‘ 御衣黄 ’

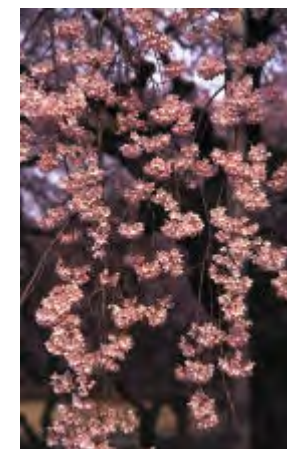


‘ 南殿 ’

写真－１－５ サトザクラの主な園芸品種

③ シダレザクラ *Prunus itosakura* SIEB.(*P.pendula* MAXIM.)

- ・エドヒガンから出たとされる種で、枝が細く長く垂れ下がり、ほかのサクラとすぐに区別がつきます。成長すると木の高さは 10 ～ 15m になります。
- ・花は 5 月中～下旬頃に咲き、花の色は微紅色～紅色で、花の大きさは約 2.5cm です。花びらは 5 枚ですが、八重咲きの品種もあります。
- ・果実はあまりなりませんが、球形で直径が 6 ～ 8 mm、黒色に熟します。
- ・苗木は、つぎ木でふやします。
- ・主な植栽場所は、個人の庭などで、公園や街路ではあまりみかけません。



写真－１－６ シダレザクラの樹形（左）と花（右）

一重咲き，八重咲き，菊咲きのサクラ

エゾヤマザクラやチシマザクラの花びらの数は、それぞれ 5 枚ですが、これらを「一重咲き」の花と呼んでおります。何らかの原因で、雄しべや雌しべなどが花びらに変化して枚数が増え、7 ～ 10 枚の花びらを持つ花を「半八重咲き」、11 ～ 60 枚前後を「八重咲き」の花と呼び、花びらが 100 ～ 300 枚前後になるものは、あたかも菊の花のように見えることから「菊咲き」の花と呼んでおります。

ちなみに、サトザクラ‘関山’の花びらは約 30 枚、‘兼六園菊桜’の花びらは約 150 枚あります。

(3) 道内で品種登録されたサクラ

① ‘釧路八重’

- ・登録年月日：1981年5月27日
- ・育成者権者・名称：稲澤悦子
- ・特性の概要：エゾヤマザクラ系の八重咲き品種で、色は淡紅色、花びらの数が30～50枚あります。花は釧路地方では5月下旬にエゾヤマザクラと同時かやや遅くに咲き、開花と葉の展開はほとんど同時です。
- ・育成の経過：自生木の中から花色の濃い個体を選び、タネを採取して育成した中から選抜した個体です。
- ・苗木のふやし方は、エゾヤマザクラを台木としてつぎ木でふやします。なお、つぎ木でふやした苗木が市販されています。
- ・主な植栽場所は、釧路市内の鶴ヶ岱公園、春採湖湖畔、市役所前などで、まれに個人の庭で見ることができます。



写真－1－7 ‘釧路八重’の花

サクラは4月9日、ヤエザクラは5月9日の誕生花

サクラは4月9日の誕生花とされ、その花言葉は「精神美」です。サクラの花占いでは、人間的な細やかな気配りと大胆な行動力を兼ねそなえている人とあり、あなたはバランス人間の典型,,,とあります。

また、ヤエザクラは5月9日の誕生花で、その花言葉は「しとやか」です。5月9日に生を受けたあなたのその忍耐強さが、幸せの扉を開くでしょう。

② ‘大雪’

- ・登録年月日：1992年9月1日
- ・育成者権者・名称：風連町
- ・特性の概要：チシマザクラから選抜された個体で、花の色は淡紫ピンク、花びらの数は21～50枚で、蕾は白色です。風連町周辺での開花時期は5月下旬頃で、葉が出てから花が咲きます。
- ・育成の経過：チシマザクラのタネからふやした苗木の中から選抜した個体といわれています。
- ・チシマザクラとの区別は、樹形はほうき状、葉の蜜腺の位置が葉身基部、花の形が菊咲き（段咲きあり）、花卉全体の形が長楕円形であること、などがあげられます。
- ・苗木は、主につぎ木でふやします。
- ・主な植栽場所は、風連町役場の前庭です。なお、風連町では苗木を組織培養でふやし、町内の各戸に配布していますので、個人の庭でも多くみることができます。



写真－1－8 ‘大雪’の樹形（左）と花（右）

ヤエザクラは総称

京都御所のサトザクラ、平安神宮のベニシダレ、どちらもみごとな八重桜です。つまり、サクラの中に‘ヤエザクラ’という園芸品種はなく、八重咲き品種を総称して‘八重桜’と呼んでおります。

II 地域によって育つサクラは違いますか？

1 樹種ごとの地域適応性

北海道は地域により気象条件が大きく異なり、サクラの生育環境も異なります。したがって、それぞれの地域において育つサクラの種類は異なります。

道内 212 市町村で現在植栽または自生しているサクラ類の生息実態を明らかにするため、各市町村に対してのアンケート調査、および現地調査をもとに作成した樹種ごとの生育状況は、図－2－1～4 のとおりです。なお、図中の紫色は、その地域で健全に生育していること、さくら色は植栽事例はあるが生育がやや不良～不良であること、白抜きは植栽木が確認できなかったことを、それぞれ示しています。

なお、サクラ類は一般に塩害を受けやすい特徴がありますので、日本海沿岸では、特に遮蔽物がない場合は海岸から 1 km 以上、オホーツクおよび太平洋沿岸では、海岸から 3 0 0 m 以上内陸部に植えると良いでしょう。以下、樹種ごとにみた植栽適地はつぎのとおりです。

(1) エゾヤマザクラ

エゾヤマザクラは、全道各地に自生または植栽されており、全市町村で健全に生育していることから、耐寒性も高く、北海道の風土にもっとも適したサクラといえます。



エゾヤマザクラ



カスミザクラ

図－2－1 エゾヤマザクラ、カスミザクラの生育状況

(2) カスミザクラ

カスミザクラは、胆振や日高地方に自生しており、自生地を中心に多く植えられております。そのほか、石狩・空知・上川・十勝・網走・釧路・渡島地方の一部でも植栽木をまれにみることができます。

これまでの調査結果から、カスミザクラの植栽適地として、渡島・檜山・胆振・日高・石狩・後志地方のほぼ全域があげられ、さらに幌加内町を除く空知・上川中部以南・十勝・網走南部および東部・釧路西部地方で、特に冬期間の風の弱い場所では、生育可能と考えられます。また、北海道北部や東部においても、生育環境によっては植栽が可能な場所もあると思われます。

(3) チシマザクラ

チシマザクラは、これまでの調査では、道南や日本海側の一部の地域で生育が確認されておりません。しかし、自生地が標高の高い場所にあり、耐寒性も高いことから、全道で植栽が可能といえます。

なお、サクラは雑種が出来やすく、さらに前記 I 4 (1) の「北海道にもともと生えているサクラ」でも一部紹介したとおり、品種や変種を区別し難い場合もあります。したがって、ここでいうチシマザクラとは、母種であるミネザクラに近いもの、およびチシマザクラとエゾヤマザクラとの雑種も含まれております。



図－2－2 チシマザクラの生育状況

(4) ソメイヨシノ

ソメイヨシノは、道南地方を中心として多く植えられています。これまでの調査で、利尻町や猿払村などの道北や道東の一部の市町村で植えられていますが、道央以北・以東では、いずれも生育があまり良くなく、特に、てんぐす病に罹っている個体も多くみられます。

生育可能な地域は、渡島・檜山・胆振地方、日高町を除く日高地方、後志地方の大部分、石狩・空知地方の南部と考えられます。また、幌加内町を除く空知地方中・北部、上川地方中部などでは生育環境によっては植栽が可能な場所もあると思われます。

(5) サトザクラ

サトザクラには、いろいろな品種があり、さまざまな品種がほぼ全道各地に植栽されています。しかし、一般的にいうと、道北や道東地方では大部分の品種の生育はあまり良くありません。

ほぼ健全に生育する地域は、幌加内町を除く空知・浜益村を除く石狩・後志・日高町を除く日高・胆振・渡島・檜山地方と考えられます。なお、適応性は品種によっても多少異なり、上記以外の地域でも風の当たらない場所などでは良く生育する品種もみられます。



ソメイヨシノ



サトザクラ

図-2-3 ソメイヨシノ、サトザクラの生育状況

(6) シダレザクラ

シダレザクラは、道央以南を中心にはほぼ全道に植えられておりますが、道北の日本海側や道東の一部では、樹高の小さなものが多く、生育は必ずしも良くありません。

生育が期待できる地域は、渡島・檜山地方と、胆振・後志・石狩・日高・空知地方の一部と思われます。



図-2-4 シダレザクラの生育状況

サクラは他家受精（他殖）

同一個体内の雄性配偶子と雌性配偶子との結合による有性生殖を自家受精、これ以外の種内交雑を他家受精と分け、それぞれ単に自殖、他殖と一般に呼んでおり、サクラなど永年性の樹木は、大部分が他殖です。

つまりサクラは、雌雄同株で一つの花に雄しべと雌しべがありますが、同一個体内の雄性配偶子と雌性配偶子は結合し難い樹種の一つです。したがって、単木的に庭に植えられているチシマザクラからタネを採取して育てた苗木の大部分は、遺伝的には周辺に植えられているエゾヤマザクラとの種間雑種であると考えられます。

III サクラの種類によって花が咲く時期は違いますか？

1 樹種ごとの開花特性

サクラの鑑賞価値は第一に花にあるといえますが、この花の咲く時期や期間などの開花特性は、生育場所や年度、あるいは樹種により大きく異なります。

ここでは、北海道に植えられている代表的なエゾヤマザクラ、カスミザクラ、チシマザクラの3種について、その開花特性の調査事例を紹介します。

(1) エゾヤマザクラ

美瑛市にある当場のグリーンプールにおいて、1991年と1992年に、つぎ木でふやした15年生の個体を調べた結果、個体ごとにみた開花量は、両年ともに数個から約2,000個であり、個体によって著しい違いがみられました。また、樹高の低い個体は開花量が少ない傾向がみられ、さらに、個体ごとにみた両年の開花量に、高い相関が認められたことから(図-3-1)、開花量の多い個体は毎年多くの花をつける傾向があるといえます。

また、開花初日の最も早かった個体は、1990年が4月24日、1991年が5月2日であり、開花日も年度や個体によって著しく異なり、開花の遅い個体は翌年も遅い傾向がみられました。

さらに、個体ごとの花をつけていた期間は、1990年が5日～16日間、1991年が3日～9日間で、両年ともに9日間前後開花している個体が多々みられました。これらの結果から、エゾヤマザクラ花見の期間は約9日間といえそうです。

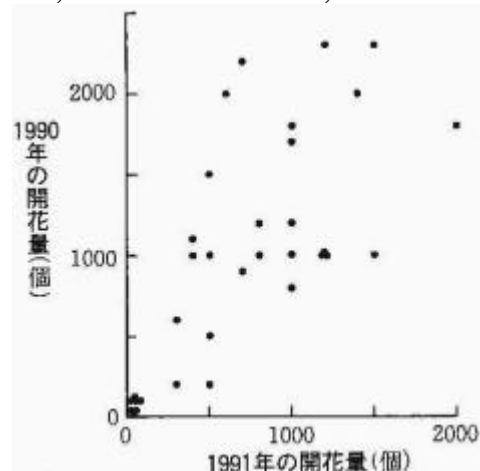


図-3-1 エゾヤマザクラの1990年と1991年の開花量の比較

(2) カスミザクラ

2000年と2001年に、三笠市にある当場のサクラ類遺伝資源保存林で、タネからふやした約10年生実生苗を調べた結果、個体ごとにみた開花量は、2000年が11個から1,036個、2001年が2個～5,672個であり、個体および年度により著しい違いがみられ、個体ごとの2年間の開花量に高い相関がみられました(図-3-2)。

また、開花初日が多々も早かった個体は、2000年が5月14日、2001年が5月9日であり、開花初日も個体や年度により異なっていました(図-3-3)。

さらに、各個体ごとの花をつけていた期間は、2000年が3日～14日間、2001年が1日～16日間であり両年ともに9日間前後開花している個体が多々もみられました。また、花が咲き始めてから開花量が多々も多くなるまでの日数は4日間前後であったことから一般に満開日の4～5日後には花がみられなくなるといえそうです。

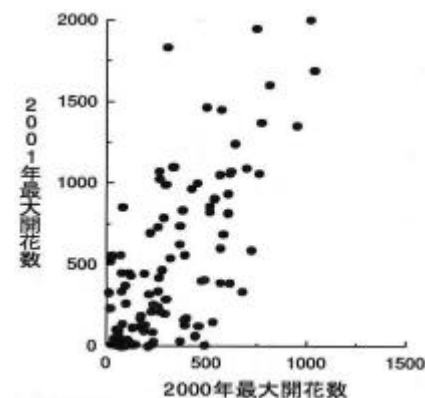


図-3-2 カスミザクラの2000年と2001年の開花量の比較

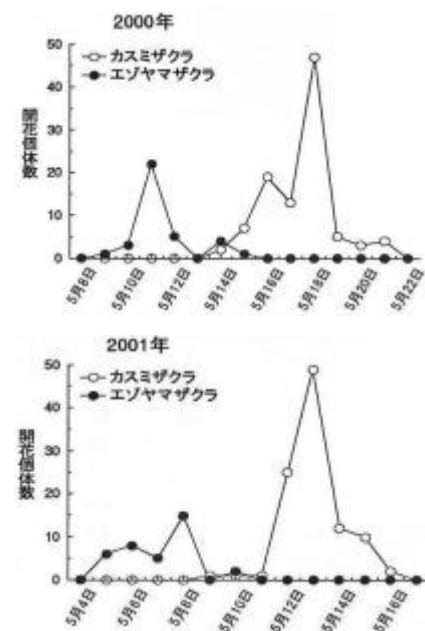


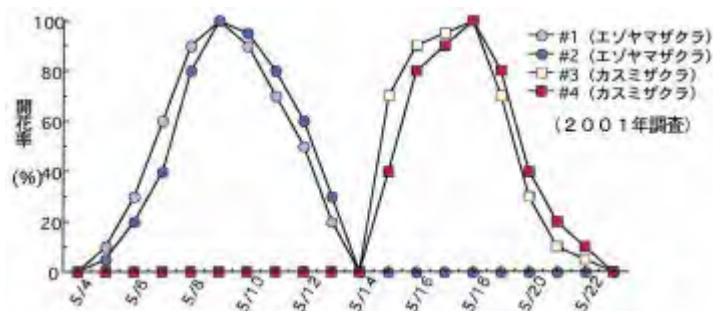
図-3-3 エゾヤマザクラとカスミザクラの開花初日別の個体数

(3) チシマザクラ

1992 年と 1993 年に三笠市にある当場のサクラ類遺伝資源保存林で行った 6 年生実生苗の調査結果、個体ごとにみた開花量は、1992 年が 0 ～ 244 個、1993 年が 0 ～ 460 個で、個体によって著しい差がみられました。個体ごとにみた 2 年間の開花量には高い相関があり、開花量の多い個体は毎年多くの花をつける傾向が認められます。

また、開花日が最も早かった個体は 1992 年が 5 月 8 日、1993 年が 5 月 6 日であり、最も遅かった個体は 1992 年が 5 月 18 日、1993 年が 5 月 13 日でした。このように、早いものと遅いものとはそれぞれ 7 ～ 10 日間の差があり、開花日も個体によって著しく異なっていました。また、開花の早かった個体は次の年も早い傾向がみられます。

各個体ごとの花をつけていた期間は、1992 年が 1 日～15 日間、1993 年が 4 日～20 日間で、2 年とも 9 日間開花している個体が最も多くみられ、咲き始めてから開花量が最大になるまでの日数は 3 日でした。



図－3－4 エゾヤマザクラとカスミザクラの開花時期の比較

花の寿命

サクラの花が咲いている期間（開花期間）は、その種類やその年の気候によって大きく異なり、一重咲きより八重咲きの花が一般にやや長く、エゾヤマザクラやチシマザクラなど短い種類で 9 日間前後、ソメイヨシノでは 15 日間前後、サトザクラの‘関山’などでは 20 日間前後とされています。

2 樹種による開花時期の違い

北海道で同じ場所にサクラを植えた場合、一般的にチシマザクラの開花が最も早く、1 日程度遅れてエゾヤマザクラが咲きます。ソメイヨシノはエゾヤマザクラよりも 2 ～ 3 日遅く、カスミザクラはエゾヤマザクラに比べ 10 日ほど遅く、エゾヤマザクラが落花し、葉ザクラになった頃に開花します（写真－3－1）。また、シダレザクラはカスミザクラとほぼ同じ頃に咲きます。なお、サトザクラは品種によって異なりますが、さらに数日遅く咲きます。



矢印がカスミザクラ（未開花）、遠方が満開のエゾヤマザクラ



葉ザクラになったエゾヤマザクラ（右）と満開のカスミザクラ（左）



遠方のエゾヤマザクラ（落花）、矢印が満開のカスミザクラ

写真－3－1 エゾヤマザクラとカスミザクラとの開花状況

Ⅳ サクラをふやすにはどのようにするのですか？

1 タネからのふやし方

エゾヤマザクラ、カスミザクラ、チシマザクラなど道内に自生している野生種の場合、タネから苗木をふやすのがもっとも簡単で、比較的やさしくたくさんの苗木を作ることができます。ただし、次に紹介するように、タネの採取時期などに注意を払う必要があります。

(1) タネの採取時期

タネの採取時期は、果実が落下する直前が最適です。サクラのタネの採取期の目安は、果実が黒っぽく熟したときで、それより早く採ると果肉を取り除くのが大変です。そのため、果実の落下直後のものであればタネとして使用することができます。また、花柄や葉などは後で取り除くのが手間なので、できるだけ果実のみを採取するようにします。サクラ各種のタネの採取時期は、樹種や地域によって若干異なりますが、おおよその目安は、図-4-1に示すとおりです。

樹 種 名	6月	7月	8月
エゾヤマザクラ		—	
カスミザクラ		—	—
チシマザクラ		—	

図-4-1 サクラ各種のタネの採取時期

※破線は亜高山に生育しているもの

(2) タネの精選のしかた

果実の採取後、果肉を着けたまま冷蔵庫に入れておくと、果肉が腐敗してしまい、その後の取り扱いが煩雑になります。そのため、果実を採取した後はなるべく早く果肉を取り除きます。果肉を取り除く手順は写真-4-1に示すとおりで、これらの過程をタネの精選といいます。



その1：花柄や葉などを取り除き果実だけにします。



その2：果実を薄手の木綿袋などに入れます。



その3：袋の口を押さえ果実を押しつぶすようにして果肉を取り除きます。



その4：つぶした果実はタネごと水を入れた大きめの容器に入れます。



その5：水に浮いた果皮などを捨てます。これを2, 3回繰り返します。



その6：タネは新聞紙などに広げ水気を取ります。

写真-4-1 タネの精選方法

(3) 貯蔵のしかた

サクラのタネは、乾燥すると発芽力を失ったり、休眠します。そのため、タネを採取した秋に播きつけるか翌春に播きつけるかによって、貯蔵方法も若干異なります。タネを秋まで保存する場合は、乾燥しないようにビニール袋などに入れ冷蔵庫に入れておきます。

一方、1年間以上の長期貯蔵をしようとする場合には、タネをある程度乾燥させる必要があります。タネに含まれる水分の割合を10～15％に調整すれば2、3年間の貯蔵が可能です。乾燥させたタネは、そのまま播くと発芽に2年かかりますので、播種に先だって40～50日間湿った砂と混ぜ冷蔵庫（1～4℃）の中で休眠を解除する必要があります。

(4) 播種のしかた

精選したタネは、すぐに畑や育苗箱などに播くか、採取した年の9～10月、あるいは翌春の4～5月に播きます。播きつけするタネの数は、1m²当たり200～400粒（5～7cm間隔）で、タネを土の中に軽く指で押しつけます。播いた後は、ふるいをうい5～10mmの厚さで土をかけます（写真-4-2）。発芽率は普通70～80％以上で、発芽した年の秋の苗高は露地で30～50cm、育苗箱で5～20cmになります。



その1：タネは土に軽く指で押しつけます。



その2：ふるいで土を5～10mmの厚さにかかけます。

写真-4-2 タネの播きつけかた

(5) タネによるふやししかたの長所と短所

タネでふやすと、交配しているため親木と同じ形質の個体はできません。このように、苗木のふやししかたにはそれぞれ長所と短所がありますので（表-4-1）、ふやす目的とサクラの種類によって、もっとも適したふやししかたを選びます。

表-4-1 サクラの主なふやししかたとその長所・短所

方 法	長 所	短 所
タ ネ	①大量にふやすことができる ②技術的に易しい ③寿命が長い ④生育が旺盛である ⑤病虫害等に強い	①同じ形質の個体をふやせない ②タネの結実に豊凶がある ③開花・結実に年数がかかる ④自然交雑種がしやすい ⑤タネの採取、取り扱いが煩雑
さ し 木	①同じ形質の個体をふやせる ②個体選抜ができる ③短期に苗ができる ④大苗を作ることができる ⑤タネが採れないとき便利 ⑥腰の低い樹形に誘導できる	①繁殖力の弱いものがある ②一般に、病虫害に弱い ③発根の悪いものがある ④さし穂を多量に集め難い ⑤さし穂の貯蔵、取り扱いが煩雑 ⑥側枝性が残ることがある
つ ぎ 木	①同じ形質の個体をふやせる ②個体選抜ができる ③発根の悪いものをふやせる ④樹形を調整できる ⑤台木を利用できる ⑥短期に結実できる	①繁殖力の弱いものがある ②一般に、病虫害に弱い ③台木の養成が必要である ④台木との親和性が必要である ⑤技術が比較的高度である ⑥苗木養成費が割高となる
組織培養	①同じ形質の個体をふやせる ②個体選抜ができる ③短期間に大量にふやせる ④無菌個体が得られる ⑤遺伝子操作を行える	①繁殖力の弱いものがある ②一般に、病虫害に弱い ③特殊な施設が必要である ④高度な技術を必要とする ⑤一般に苗木養成費が割高である

2 つぎ木によるふやし方

(1) つぎ木の時期と台木

サトザクラなどの園芸品種の大部分は、つぎ木によりふやします。つぎ木の台木には、北海道では一般にエゾヤマザクラを用います。台木の芽が動き始める5月上～中旬がつぎ木の適期です。台木は、樹勢が強く根のしっかりした苗木を、つぎ木の前年から準備しておきます。

(2) つぎ穂の採取と貯蔵のしかた

つぎ穂の採取は、休眠期の2月中旬に、親木として樹勢の良い個体を選び、樹冠の陽光部から、前年伸びた30cm程度の枝を荒穂として採取します。荒穂はつぎ木を行うまで、雪の中や冷蔵庫で貯蔵します。冷蔵庫で貯蔵する場合は、荒穂を乾燥させないように湿ったおがくずや水苔などといっしょにビニール袋に入れます。

(3) つぎ穂の作りかた

荒穂は、冬芽を2～3個含むように5～7cmの長さに切り、つぎ穂とします。つぎ穂の基部は、長さ3cm前後に鋭利なナイフで平滑に削り、反対側の基部も切り返します(写真-4-3)。

一方台木は、地上5～10cmの高さで切り、その切り口をナイフで平滑に削ります。さらに、つぎ穂の太さに合わせて、台木への切り込み位置を決め、ナイフを垂直に立てて3cm程切り下げます(写真-4-4)。

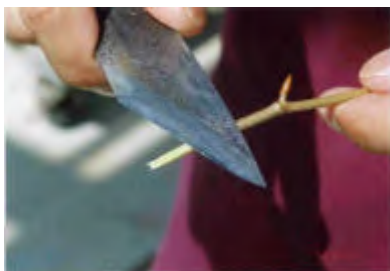


写真-4-3 つぎ穂の切り返し



写真-4-4 台木の処理

(4) つぎ木のしかた

つぎ穂の平滑に削った部分の形成層と、台木の切り下げた部分の形成層とを合わせます。このとき、台木とつぎ穂の太さが異なる場合は、形成層の片側を密着させ、つぎ穂と台木はビニールテープなどでしっかりと固定します(写真-4-5)。

接合部分には、乾燥や雨水浸入を防ぐため木ロウなどを塗ります。また、つぎ穂の乾燥防止のために、小さな空気穴を開けたビニール袋をかぶせる場合もあります(写真-4-6)。

(5) つぎ木後の管理のしかた

つぎ穂と台木の活着に適した環境は、温度が20～25℃、相対湿度が90～100%とされています。したがって、寒冷紗などで日よけし水分の蒸発を防ぎます。また、つぎ木後1回目の冬は接合部の癒合が弱いため雪対策が必要で、サクラの場合、一般に台木ごと掘取り仮植します。また、台木から発生したヒコバエは、つぎ穂の成長を阻害しますので剪定します。



写真-4-5 テープで固定



写真-4-6 乾燥防止のためのビニール袋

二度咲くサクラ

二度咲くサクラには、秋と春に咲くものと、春に二度咲く場合があります。秋と春に咲くサクラには「冬桜」「十月桜」「四季桜」「不断桜」などがあり、当年形成された花芽の3割ほどが秋に、残りは翌春に咲きます。二度咲きがどうして起きるのかについては、「狂い咲き」説とか「先祖返り」説などがありますが、明らかなことは分かっておりません。

3 さし木によるふやし方

サクラの仲間の多くは、さし木による増殖は困難ですが、チシマザクラ、マメザクラ、マザクラ、コヒガンザクラ、ソメイヨシノなどは、発根率が高く、増殖可能なものもあります。

(1) さし木の時期

4月にさし木を行う場合（春ざし）は、2月に荒穂を採取し雪中貯蔵しておきます。チシマザクラやソメイヨシノは、7月（夏ざし）にその年伸びた枝で充実したものをさし穂として選び、さし木を行います。

(2) さし木の作りかた

さし穂の作りかたは、春ざしの場合は芽2～4個、夏ざしの場合は葉3～5枚が入る長さに、剪定ばさみで切り分けます（図 - 4 - 2）。このとき、先端部は芽（もしくは葉）の上で、基部は芽（もしくは葉）の下で切断します。夏ざしの場合は、上部の葉2枚以外は切り落とし、さらに残した葉が大きいときは半分程度にします。これらをさし穂として用いますが、このとき充実していない先端部や小枝などは使用しません。さし穂の基部は、カッターなどの鋭利な刃物でくさび状に削ります（写真 - 4 - 7）。さし穂は、さしつけるまで水に浸しておきます。

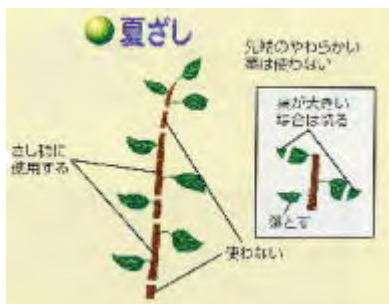


図-4-2 さし穂の作りかた



写真-4-7 さし穂の処理

(3) さし木の用土とさし木のしかた

さし木の用土には、水はけと水持ちが適度に優れ、肥料分の少ない鹿沼土や赤玉などが適しています。これらを育苗箱や鉢などに入れ穂をさしつけます。穂をさしつける前に、割り箸などを案内棒として、4～5 cm の深さの穴をあけ、さし穂の切り口を痛めないように丁寧にさしつけます。その後、さし穂が動かないように根元の用土をしっかりと押さえ十分に灌水します（写真 - 4 - 8）。



その1：穂を挿す場所に4～5cmの穴をあけます



その2：さし穂の根元を指で押しつけ固定します



その3：十分に灌水します

写真-4-8 穂のさしつけ

(4) さし木後の管理のしかた

さし木後は、直射日光の当たらない場所に育苗箱を置き、さし床が乾かないように毎日灌水します。特に夏ざしでは、葉から水分が蒸発するため、さし木後1～2週間は十分に灌水を行う必要があります。

さし穂は通常1ヶ月で発根し、2～3ヶ月で根の発達が良くなります。根が十分に発達したら、栄養分のある土に植え替えます。

4 組織培養によるふやし方

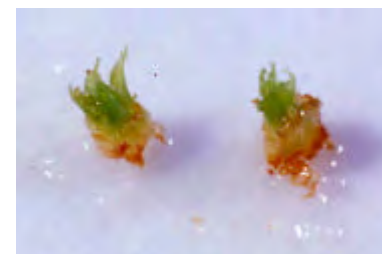
組織培養でふやせる樹種には、エゾヤマザクラ、チシマザクラ、カスミザクラ、サトザクラなどがあります。

組織培養の方法は、冬芽の中にある茎の先端（茎頂）を取り出し、滅菌された瓶の中の寒天か液体中に置き、それを培養してたくさんのシュートをふやします。この方法を茎頂培養法といい、以下に、エゾヤマザクラについてその手順を紹介します（写真－4－9）。

- ① **茎頂の採取**：ふやしたい木から良く伸びた小枝を採取します。2月と5～6月に小枝を採取すると高い増殖率が得られます。
- ② **殺菌**：小枝を、長さ 1cm 程度の柄を付けた1芽毎に分け、エタノールなどで表面殺菌を行い、その後、滅菌した水で3回洗浄します。
- ③ **培養**：クリーンベンチという雑菌のない器械の中で、表面殺菌をした芽から、横径1～1.5mmの茎頂を取り出し、瓶の中の寒天上に置きます。その後、26℃の恒温室で2ヶ月ほど培養するとシュートが伸びてきます。なお、寒天の中には20種類近い栄養成分や植物ホルモンなどが入っています。
- ④ **シュートの増殖**：伸びたシュートを根元から切り、葉を取り除いた後、1芽以上を含む長さ3～5mm程度の切片に切断します。それをふたたび寒天の上に置くと、約1ヶ月で新たなシュートが伸びてきます。この作業を繰り返し行くと大量のシュートをふやすことができます。あくまで計算上ですが、これまでの実験では、1芽から1年間で高さ2～4cmの小さな幹（シュート）を780億本以上ふやすことができます。
- ⑤ **発根**：次に、露地で育てるためにシュートから根を出させます。シュートを根元から切断し、下半分程度の葉を除去した後、発根剤を染み込ませたバーミキュライトや寒天などにさしつけ、根を出させます。根が出る割合は、通常は70～80%以上です。
- ⑥ **順化（馴化）**：根が出たシュートを鉢に移植し、ビニール袋などをかけ、最初は湿度を保持し、徐々に湿度を下げて外の気候に馴らします。また、鉢上げしたものに直接不織布をかけて外の気候に馴らす方法もあります。順化した苗は、その後苗畑などで大きく育てます。



その1：冬芽を採取します



その2：茎頂を取り出し、培地の上に置きます



その3：約2ヶ月ほど経つとシュートが伸びてきます



その4：シュートの葉を取り、3mmに切断します



その5：切片を培地の上に置きます



その6：約1ヶ月で切片から再びシュートが伸びてきます。



その7：シュートを寒天などにさし根を出させます



その8：根が出たものを鉢上げし、苗畑で養成します

写真－4－9 サクラ類の茎頂培養

5 苗木の育てかた

ここでは、実生（タネ）による苗木の一般的な育てかたについて紹介します。

播きつけた当年秋の1年生苗の苗高は、チシマザクラで5～20cm、エゾヤマザクラやカスミザクラでは20～50cmになります。しかし、発芽本数や播種床の栄養状態によって、苗長は大きく異なります。なお、1年生の苗木は、雪による幹折れを防ぐため、一般に秋に掘り取り、越冬仮植を行います、チシマザクラのように小さなものはそのまま越冬させてもかまいません。

播きつけ翌年春には、越冬仮植した苗木とともに越冬仮植をしなかった苗木も床替えを行い、根の発達を促します。植えつけ（床替え）本数は、1㎡当たりエゾヤマザクラとカスミザクラでは9本、チシマザクラでは9～16本とします。さらに、2年目の秋も掘り取って越冬仮植を行います。2年生苗の苗高はチシマザクラで約40～50cm、エゾヤマザクラとカスミザクラでは平均70cm～1m前後に成長します。

3年目には、チシマザクラでは列間1m、苗間50cm、エゾヤマザクラ・カスミザクラでは列間1m、苗間1mで植えつけし、そのまま翌年秋まで据え置きます。据え置いた年度は、地上部の成長も良くなり、チシマザクラでは3年生で平均70cm前後、4年生で約90cmに成長し、エゾヤマザクラやカスミザクラでは3年生で約150cmに成長します。

ここで、床替えをした苗木と据え置いた苗木の成長をみると、据え置き苗は床替え苗に比べ、成長が3～4割良くなります（図－4－3）。この成長の違いは、据え置き苗では、根が切断されることがないためさらに発達して樹高も伸びますが、床替え苗では、掘り取り時に苗木の細根がかなり失われるため（表－4－2）、床替え当年の成長は据え置き苗の成長に比べて低くなります。

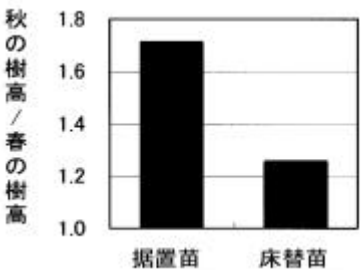
しかし、根の発達は床替えをした苗木と据え置いた苗木とでは大きく異なり、据え置いた苗木の根は遠くまで伸びているため、移植に適した根系には育ちません。そのため、サクラの苗木は、2年以上の据え置きを避けるようにします。

サクラのタネを播いてから、成長して開花するまでの年数は、チシマザクラでは通常4～5年、エゾヤマザクラやカスミザクラでは7～8年かかりま

す。しかし開花年数は、前記Ⅲ・1「樹種ごとの開花特性」で紹介したように、個体によって早いものと遅いものがあり、さらに苗畑の栄養条件など育苗環境によっても異なります。その例として、チシマザクラでは、タネの播きつけ後2年目の春に花をつけた個体が観察されています。

表－4－2 掘り取りによって失われる細根の量

樹 種	樹高(cm)	失われる細根量(%)
エゾヤマザクラ（据置苗）	197	89
エゾヤマザクラ（床替苗）	142	82
カ ツ ラ（据置苗）	231	84
カ ツ ラ（床替苗）	168	53



図－4－3 据置き苗と床替え苗の成長の比較



写真－4－10 チシマザクラの1年生苗



写真－4－11 チシマザクラの2年生苗

V サクラの根はどのようなになっていますか？

1 根のはたらき

樹木の根が果たす役目にはいろいろありますが、特に3つの大きな働きがあります。ひとつは樹木が生きていくために必要な養分や水分を吸収する働きで、主に細根と呼ばれる根の先端部分が行っています。2つ目は大きな地上部の樹体を支える働きで、主に太い根がつかさどっています。3つ目は、葉でつくられた養分を蓄える働きです。

2 根と地上部との成長の違い

エゾヤマザクラの根端の伸長は、4月下旬に始まり、特に8月中旬頃が最大となって10月中旬に停止します(図-5-1)。一方、枝の伸長は5月上旬に始まり、6月の上～中旬には停止します。つまり根端の伸長は、地上部の伸長が盛んなときは少なく、地上部の伸長が停止した後に徐々に多くなるという特性があります。

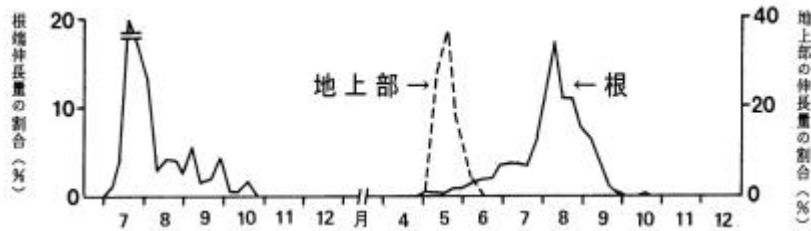


図-5-1 エゾヤマザクラの根端の伸長の季節変化

さくら餅

「さくら餅」は春の訪れを告げてくれるお菓子で、サクラの葉のほのかな香りと塩味が、餅の風味と味わいを引き立たせてくれます。

「さくら餅」の葉は、「クマリン」という芳香物質を多く含み、形が比較的大きく両面に毛のないオオシマザクラが使われており、そのほとんどは伊豆半島や伊豆大島で、葉の採取に都合の良い樹形に仕立て、事業的に生産されています。

3 エゾヤマザクラの根の特性

(1) 根の深さと広がり

エゾヤマザクラの根の深さと広がりについて、植えつけ後5年間の推移を調べた結果(表-5-1)、根の深さ方向への成長量は、植えつけ後1年目よりも大きく5年後では100cmですが、根の広がりには樹高の成長とともに大きくなり、植えつけ5年後では根株から340cmまで達していました。この間の地上部と根の年間の成長量をみると、樹高成長は平均約86cmで、根の広がりには平均67cmでした。

この結果から、エゾヤマザクラでは樹体が大きくなっても根はあまり深くまで侵入しませんが、根の広がりには樹体の大きさに比例して大きくなるといえます。そのため、エゾヤマザクラの植えつけにあたっては、根が十分に伸びることができる面積を確保してやるのが大切です。

表-5-1 エゾヤマザクラの根の深さと根の広がり

	植栽時	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後
樹高(cm)	42	116	209	308	400	470
根の深さ(cm)	23	57	80	100	100	100
根の広がり(cm)	6	79	160	220	240	340

(2) 根と地上部との関係

根と地上部との重量の間に、高い相関関係がみられ、根と地上部とは比例して成長していくことがわかりました(図-5-2)。

つまり、根と地上部とはお互いにバランスを取りながら成長しているのです。

したがって樹木は、移植などによって根などが切断された場合、自分でバランスをとりながら成長します。

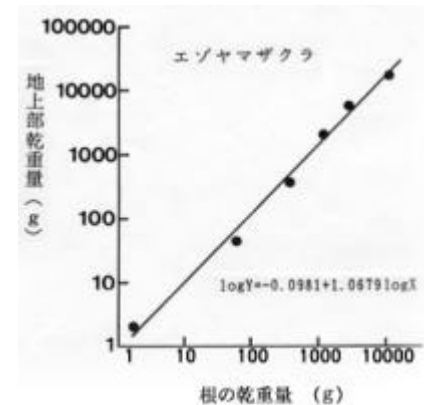


図-5-2 根と地上部との重量の関係

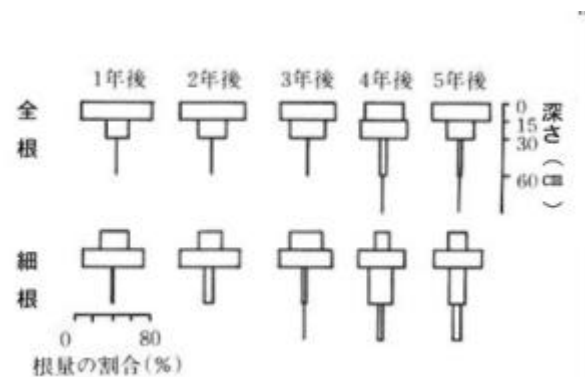
(3) 根と地上部のバランスのとりかた

樹木を移植した場合、根が切断され失われるので、地上部とのバランスを保つため、樹木は根の量を増やそうとします。その結果、根の成長が活発となり、逆に地上部の成長量は少なくなります。つまり、移植した木の地上部の成長量が少ないのは、根系の回復に時間がかかっているからです。なお、移植による根系の回復は、老木などの大きな木や弱った木ほど遅れ、若い木や樹勢の良い木は早いといえます。

また、剪定を行った場合も、枝や幹の量が一時的に少なくなりますので、根とのバランスを保つために枝を伸ばし、地上部の量を増やそうとします。例えば、強度の剪定をしたプラタナスやポプラ類などで長い徒長枝を出すのは、このような理由からで、その間の根の成長量は当然少なくなります。

(4) 根の深さ方向への伸びかた

根全体の深さ方向への伸びかたをみると（図－５－３）、植えつけ後５年経っても、15cm までの深さに全体の 60 %以上、深さ 30cm までに 90 %以上があり、根の多くは浅いところにあるといえます。また、養分や水分の吸収と関係の深い細根は、30cm までの深さに約 70 %があります。このようなことから、エゾヤマザクラの根系の多くは深さ 30cm までに分布しているといえます。したがって、深さ 30cm までの土壌の良し悪しが、成長に大きく影響しているといえます。



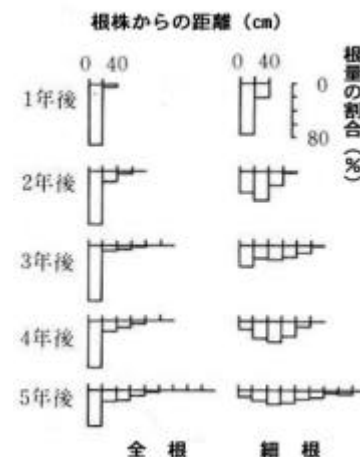
図－５－３ エゾヤマザクラの根の深さ方向への伸びかた

(5) 根の水平方向への伸びかた

根全体の水平方向への伸びかたについて、植えつけ後の年次を追ってみると（図－５－４）、根株付近の根量は、植えつけ後、年数が経過するとともにその割合が徐々に減少していくものの、５年後でも根株から 40cm の距離までに 50 %以上があり、また 80cm までに約 70 %があります。

一方、細根は経年とともに少しずつ遠くまで広がっていき、５年後では 40～160cm の範囲にやや多い傾向がみられるものの、3m 以上の広い範囲まで伸びています。

この結果から、エゾヤマザクラの根は、全体をみると根株近くに多く分布していますが、細根は樹体の成長に伴って横に広く伸びているといえます。



図－５－４ エゾヤマザクラの根の水平方向へ伸びかた

(6) 根と枝張りの関係

樹高と枝張り、枝張り内に含まれる根の量をみると（表－５－２）、枝張り内に含まれる根の割合は、全根量で 85 %、細根で 50%であり、細根の半分は枝張りを越えて広がっています。一般に、根は枝先を越えて広がっていないといわれていますが、これまで幾つかの樹種で調べた結果、根が枝の広がり内に収まっている樹種はむしろ少ないことがわかりました。

表－５－２ エゾヤマザクラの枝張り内の根量

樹高	枝張り	根の広がり	全根量の割合	細根量の割合
4.7m	1.3m	3.4m	85 %	50%

VI サクラはどのような土に植えたら良いのですか？

1 サクラの生育不良地の主な原因

サクラは、各地で盛んに植えられています。生育があまりかんばしくない所がみられます。そこで、道内8カ所のエゾヤマザクラ植栽地で、生育が比較的良好な木と不良な木とを選び、その土壌の状態を調べたところ、土壌の硬さと水はけが、生育に大きく関係していることがわかりました。ここではその結果とともに、土壌の簡易な調べかたなど、土壌の診断や改良のしかたを紹介します。

(1) 土壌の硬さ、水はけと生育との関係

図-6-1～2には、それぞれ土壌の硬さ、水の浸透高とエゾヤマザクラの成長との関係を示しております。なお、調査木 No が小さいほど成長が良く、大きくなるほど不良木です。また土壌の硬さは、根元付近に長さ1m、深さ30cmのトレンチを掘り、10cm×10cmのメッシュに分け、山中式土壌硬度計でそれぞれ3回ずつ測定した値の平均です。また水の浸透高は、根元から1m離れた所に深さ30cmの穴を掘り、水で満たして1時間後の水位の低下を測定したものです。

その結果、土壌の硬さの平均が20以下で、かつ水の浸透高が10cm以上であれば、生育が良好であるといえます。一方、土壌硬度の平均が20以下であっても、水の浸透高が10cm以下であれば生育は不良となり、逆に水の浸透高が10cm以上であっても、土壌硬度が20以上であれば生育不良となっていました。

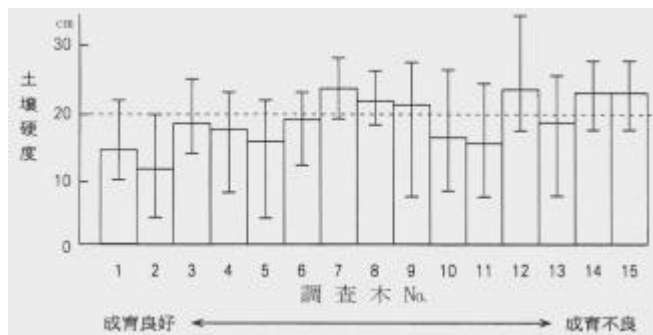


図-6-1 土壌硬度とエゾヤマザクラの成長

これらの結果から、エゾヤマザクラの生育は、軟らかな土の確保と水はけの良さが大きく関係しているといえます。

したがって、サクラ類の健全な生育を期待するためには、土壌の硬いところでは耕耘を行って柔らかくするか、あるいは理化学性の優れた土壌を客土することとし、水はけの悪い場所では、暗渠などの排水処理が必要です。

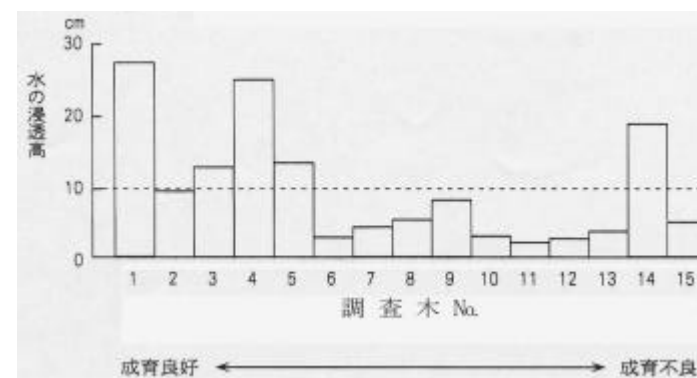


図-6-2 水の浸透高とエゾヤマザクラの成長

ドベネックの樽 (たる)

サクラの成長量は、その生育に必要な水分・温度・通気性・光などの環境条件のほか、窒素・リン酸・加里などの主要な養分やマグネシウムなどの微量な養分などによって支配されております。

この養分や環境要因など、生産に関係する各因子を樽の側板にみため、樽の中の生産量は最も短い側板の高さ以上にならないことを図示したものを、「ドベネックの樽」と呼んでおります。サクラの開花量なども多くの因子によってコントロールされております

(2) 生育不良地の土壌改良事例と効果

- ① **現状：**川の右岸と左岸ではサクラの成長が著しく異なっています（写真－6－1）。



写真－6－1 生育が良好な木と不良な木

- ② **原因：**植栽木の根元付近を掘ってみると、成長の良い方は砂礫混じりの普通の土質であるのに対し、生育不良地の土は水をたっぷりと含んだ粘土で、水が溜まって酸欠状態になり、植栽された樹木の根が伸びておりません。植栽木が生育不良となった原因は、根の生育環境が不适当であったと考えられます（写真－6－2）。



写真－6－2 生育が良好な木の土壌と不良な木の土壌

- ③ **対策：**サクラの根を伸ばさせる目的で、植栽木の根元から 50cm 離れた場所に沿って幅 1m 深さ 0.5m の溝を掘り、列状に客土を行いました。また、客土内の水はけを良くするため、客土の延長 5m ごとに 1 か所ずつ、河川のほうへ水抜き暗渠を設けました（写真－6－3）。



写真－6－3 列状客土の施工

- ④ **結果：**施工 1 年後の調査では、幅 1m の客土の中の 70cm ぐらいまで、サクラの根が入り込んでおり、根が良く成長していました。また、客土内の土壌は比較的乾燥しており、排水性も確保されていることが確認されました（写真－6－4）。

これらの結果から、植栽基盤の良し悪しが樹木の成長に大きな影響を与えることが明らかになりました。したがって、土壌の悪い場所ではできるだけ広範囲に客土を行い、水はけも良くします。



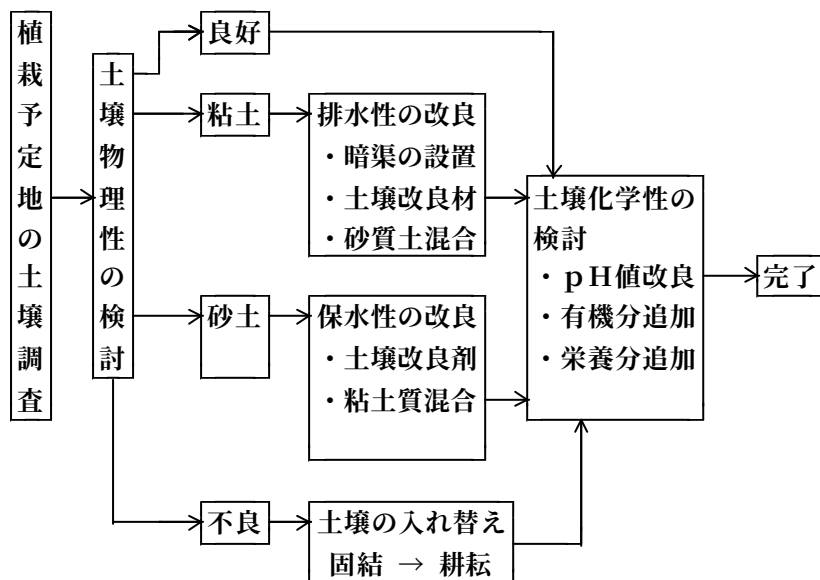
写真－6－4 施工 1 年後の根の状態

2 土壌の適性診断と改良のしかた

(1) 土壌の適性診断と改良

サクラは、生育基盤の良し悪しが植えつけ後の生育に大きな影響を与えます。そのため、植栽予定地は予め透水性、通気性、保水性、養分供給性などの診断を行い、予想される生育阻害要因を緩和、あるいは取り除く必要があります。

サクラの生育基盤である土壌環境の改善・改良には、次に示すように物理性と化学性の改良とがあり、総合的に行います。



(2) 土壌の種類と改良法

サクラ類は、造成地に植栽される場合が多く、その土壌の種類はさまざまです。次に、主な土壌の種類と特徴、および改良のしかたを紹介します。なお、緑化樹の多くは弱酸性の土壌を好み、サクラが健全に生育するための適正な土壌酸度（pH）は5～6程度、チシマザクラの場合は5～6.5程度とされています。

- ① **酸性土壌**：pHが5以下の強酸性土壌になると、塩類（K，Ca，Mg）や微量要素が欠乏します。改良法は、有機質資材を混入するか、石灰質資材を投入します。
- ② **アルカリ性土壌**：K，Mgの含有量が多いため、生育障害がおきやすくなります。改良法は硫黄粉末などを投入するか、弱酸性土壌を客土します。
- ③ **火山灰土**：物理性は良好ですが、貧栄養であり、リン酸が欠乏しやすくなります。改良法は石灰・苦土・有機質資材を投入するか、リン酸を施肥します。

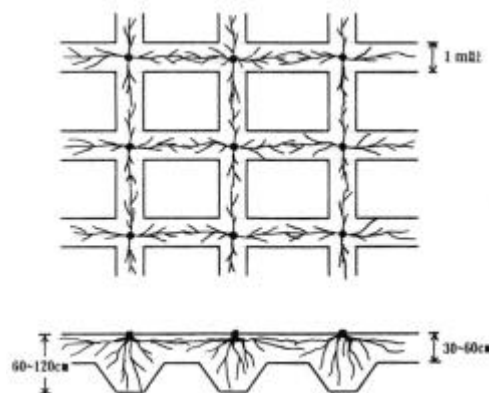
(3) 各種土壌改良資材とその特性

- ① **泥炭（ピートモス）**：木本、草本、コケ等の植物遺体が堆積したもので、一般に栄養分は少ないが、土壌の膨軟化、保水性の改善効果がみられます。
- ② **パーライト**：真珠岩を粉砕し高温加熱処理したもので、通気性、通水性を高める効果があります。また、パーライト自身の孔隙は植物が利用しやすい水分を保持します。
- ③ **バーミキュライト**：ひる石を粉砕し高温処理したもので、透水性の改善のほか、保水性の効果も期待できます。
- ④ **木炭（粉）**：木材等を炭化処理したもので、透水性の改良のほか、植物にとって良好な菌類の増殖効果があります。
- ⑤ **バーク堆肥**：木材の皮と各種有機物（糞尿など）を混ぜて発酵させたもので、土壌の膨軟化、保水力の向上などに効果があります。

3 植栽地の客土，耕耘のしかた

土壌診断の結果，土壌が不良で入れ替えが必要と判断された場合は，客土を行います。その方法には，全面客土，格子状客土（図－6－3），列状（帯状）客土（図－6－4），改良列状（帯状）客土（図－6－5）などがあります。全面客土がもっとも望ましいのですが，経費が高くなりますので，その他の方法でもかまいません。

また，土壌の質には問題なくても，硬い場合は耕耘を行う必要があります。その方法には客土と同じように全面耕耘，格子状耕耘，列状（帯状）耕耘があります。土壌を軟らかくすることにより，通気性や排水性が改善され，植えたサクラの成長が良くなります。

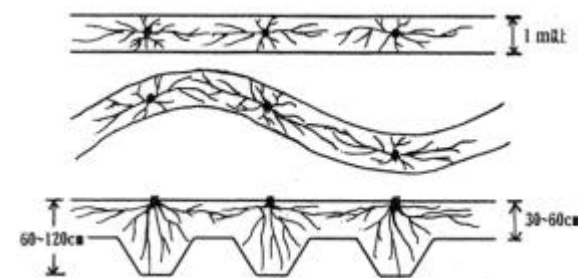


図－6－3 格子状客土

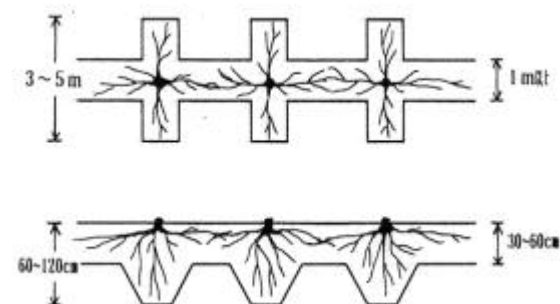
黄色い花のサクラ

サトザクラの園芸品種の中には，江戸幕府でも珍花として珍重したと言う記録があるとおり，かなり古い時代から知られていた黄色い花をつける‘鬱金’^{うこん}という珍しいものがあります。

‘鬱金’^{うこん}は，中輪の八重咲きで，花は淡黄色をしており‘黄桜’^{きぎくら}とも呼ばれております。なおこの花は，開花時には淡黄色を呈しておりますが，花の盛りを過ぎ，花が散る頃には淡紅色となります。



図－6－4 列状（帯状）客土



図－6－5 改良列状（帯状）客土

サクラの狂い咲き

大部分のサクラは，春に花を咲かせるため，時期はずれに咲いたものを「狂い咲き」と唱える人がおります。しかし，秋に咲く‘十月桜’などがあり，大きな目で見ると，早春から晩秋まで全国のどこかでサクラの花を楽しむことができます。

狭い意味での「狂い咲き」とは，春にいつも咲くサクラが，秋にその一部が咲いた場合を指します。その原因は，通常では秋になって日照時間が短くなると，花芽の休眠を促す物質を作り，翌春まで休眠しますが，台風や虫害などで葉が大きな障害を受けた場合などは，花芽が休眠できず十月頃にその一部が開花してしまいます。

VII サクラはいつ植えたらよいのですか？

1 苗木の選びかた

サクラを健全に育てるためには、植える場所とその目的に合わせて樹種や品種を選びますが、良い苗木を選ぶことや植える時期も重要なポイントになります。

(1) 優良な苗木の見分けかた

良い苗木は、樹勢の回復が早く、植えつけ後の生育が良好となります。優良な苗木を見分けるには、以下の点に注意してください。

- ① 幹や枝の伸びかたが適度であり、枝が四方に広がっているもの
- ② 根が四方に張り、細根が多いもの
- ③ 枝や葉が病虫害に罹っていないもの

(2) 小さな苗木と大きな苗木の比較

小さな苗と大きな苗の長所と短所は、表－7－1に示すとおりです。それぞれの得失を理解したうえで、植える苗木を選びましょう。

表－7－1 小さな苗と大きな苗の長所と短所

	長 所	短 所
小さな苗	①苗木代が安い ②活着しやすい ③樹勢の回復が早い	①見栄えがしない ②大きくなるのに時間がかかる ③開花が遅い
大きな苗	①見栄えがよい ②開花が早い	①苗木代が高い ②活着しづらい ③樹勢の回復が遅い

道内で見られる太いサクラ

道内で見られる太いサクラは、主なものに森町清澄町のソメイヨシノ(幹周り560cm)、松前公園のサトザクラ(同400cm)、えりも町庶野のエゾヤマザクラ(同328cm)などがあります。

(3) 小さな苗木と大きな苗木の植栽事例

エゾヤマザクラの大きな木と小さくて若い木を移植した事例では、若い木は植えつけ後の生育が良好で、葉も良く茂っています(写真－7－1)。写真は、植えつけ間もないときと植えつけ4年後の生育状況であり、比較的若い苗木でも、植えつけ後4～5年経つと、立派な樹形に成長することが分かります。

一方、大きな木を移植した場合の4年後の生育状況は、移植するときに切断された根系が未だ回復していないためか、葉の量も少なく生育はあまり良くありません。大きな木では、切断された根系が完全に回復するまでの年数は、一般に数年以上かかるといわれております。

また、サクラの苗木は、年間50～90cm伸びます。これらのことから、一般の家庭ではできる限り小さな苗木を選ぶことをお勧めします。



写真－7－1 植栽間もない頃のエゾヤマザクラ

サクラの寿命

サクラの寿命は、古来から日本の心としてきたことから日本人とほぼ同じで、さらに樹齢が60年頃から衰えてくることなどから、一般に60年前後とされております。しかし、寿命は樹種によりさまざまで、各地に超高齢の巨樹・名木が残されております。これらは、生育に適した環境条件の良いところでの寿命であり、環境条件の悪い場所に植えると、サクラの寿命は短くなります。

なお、チシマザクラなど一部のサクラがさし木によって簡単に増やし続けることができることなどから、「樹木は無限といっているほどの寿命がある」ともいわれております。

2 植えつけの時期

(1) 苗木の移植時期と活着率

苗高約80cmのエゾヤマザクラ苗木を、5月中旬から10月中旬まで、毎月1回50本ずつ、いずれも掘り取り後約2時間後に移植した結果(図-7-1)、月別にみた活着率は、6月と7月の活着率が著しく低く、9月～11月が高いことが分かりました。

これらの結果から、サクラの植えつけ適期は、春または秋であるといえます。では、春と秋では、どのように違うのかを、これまでの調査事例も含めて、次に紹介します。

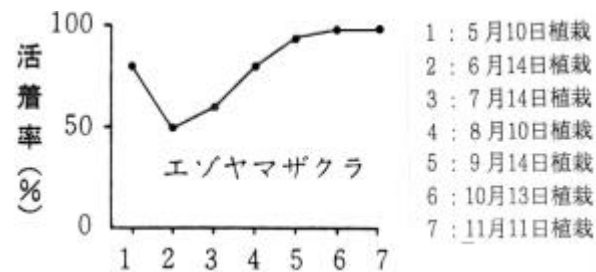


図-7-1 エゾヤマザクラ苗木の植栽時期と活着率

(2) 中～高木の春植えと秋植えの違い

樹高約3mのエゾヤマザクラ、ほか3樹種各10本を、同じ樹高のものを比較するため、秋と翌春に移植した結果(表-7-2)、いずれの樹種とも秋植えよりも春植えの活着率が高くなっています。

表-7-2 秋植えと翌春植えの活着率の比較

樹種名	秋植え	翌春植え
エゾヤマザクラ	50%	70%
ナナカマド	50	80
カツラ	70	100
シラカンバ	50	70

(3) 秋植えの問題点

これまでの研究から、シラカンバについて秋植えは冬期間の雪害を受けやすく、樹勢も低下して翌年の成長量が少ないこと(図-7-2)、ナナカマドやシラカンバでは9月中旬以降に植栽するとその年は根がほとんど伸びないことが明らかになっています(図-7-3)。

秋植えした場合は、根が切断された状態で植えられ、しかも根端がほとんど伸びないまま、寒い冬を過ごさなければなりません。その間、寒風により細い枝から水分が抜けますが、細根が少なくなっているために十分な水の補給ができません。そのため、樹勢が低下する可能性が高いといえます。

一方、春に植えると、秋までには根を広く深く伸ばすことができ、雪害を受けづらく、しかも冬期間も水分の補給も可能となります。

以上から、サクラの植えつけ適期は、特に2m以上の苗木を植栽する場合には、基本的には春植えとします。なお、苗高1m以下の小さな苗で、しかも雪に埋もれるような場所では、秋植えも可能です。

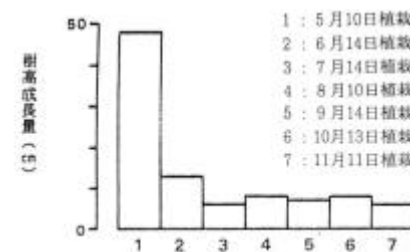


図-7-2 苗木の植栽時期と翌年の伸長量

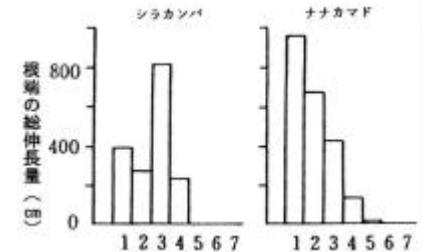


図-7-3 苗木の植栽時期と根端の伸長量

緑色の花のサクラ

桜色で代表されるように、ほとんどの桜の花は淡紅色です。しかし、改良されたサクラの中には、緑色の花をつける‘御衣黄’^{ぎょいこう}という珍しいサトザクラの園芸品種があります。

‘御衣黄’^{ぎょいこう}は八重咲きで、花びらは濃い緑黄色をしており、開花後数日過ぎると花びら中央に赤い線が現れます。なおこの花は、葉が変化したもので、光合成も行っております。

(4) 適期以外に植えつけするときの注意点

① 適期以外に植える時期

植えつけ適期以外の春や秋に植えつけ（移植）する場合は、6月と7月を避け、8月中旬頃に植えます。これは、先に説明したように、秋までに根端が伸びること、8月のほうが活着率が高いことによります。

② 植えつけ時の処理

適期以外に植えつけする場合は、葉からの水分の蒸散を防ぎ目的で、葉を除去するか、あるいは、市販されている蒸散抑制剤を葉に散布します。なお、蒸散抑制剤を散布する場合は、処理効果が長持ちしませんので、秋に葉が落ちるまで毎月1回処理することが望ましいといえます。これら夏期植えつけにおける上記の処理別の活着率について、シラカンバとカツラの例を参考までに示しました（表－7－3）。これらから判断すると、比較的小さな苗木では、葉を除去する方法が良いと考えられます。また、夏期は土壌が乾燥しやすいので、こまめに水やりを行う必要があります。

表－7－3 夏期植えつけにおける処理別の活着率

樹 種	処理区	1日後に植栽	3日後に植栽
シラカンバ	無処理区	20%	20%
	葉除去区	80	60
	枝剪定区	50	40
	蒸散抑制剤区	30	20
カツラ	無処理区	100	40
	葉除去区	100	100
	枝剪定区	90	60
	蒸散抑制剤区	100	80

③ その他の方法

あらかじめ適期以外に植栽することがわかっている場合は、春先にコンテナなどに移植しておき、植えつけ時に根を切断しないようにコンテナから取り出して植えつけします。同様に、根の周りの土を落とさず、できる限りたくさんつけたまま植えると、高い活着率が得られます。また、小さな苗木では、低温庫などを利用して、植えつけ時まで眠らせておく方法もあります。

3 植えつけのしかた

ここでは、一般家庭では大きな木を植えることはほとんどないと思いますので、樹高3m程度以下の苗木の植える場合の一般的な手順と留意点を紹介します。

(1) 植えつけの手順

まず、木の根より大きく植え穴を掘ります。このとき、苗木の根に他より著しく伸びたものがあれば切りそろえてから植えます。植え穴に苗木を深く入れ、掘った土を半分程度、植え穴に戻します。小さい苗では、苗を揺らしながら少し引き上げて土と根を密着させます。このとき、根は丸めないように注意しましょう。その後、残りの土を入れて、根元を踏み固めます。最後に、根元の地表面が土が大きくへこまないようにならします。根巻してある苗では、根巻材を取り除いて、根が伸びやすいようにします。なお、植つけ後は、たっぷり水やりをします。

(2) 根の乾燥と深植えに注意

根は、樹木に必要な水や養分を吸収する重要な部分です。根を乾燥させてしまうと、植えた木は衰弱や枯死することもあります。植える直前まで、根が乾燥しないようにビニール袋の中に保管したり、根にシートをかけるようにします。

また、深植えにならないよう、幹の根近くの太くなった部分が地表に見えるくらいの深さに埋めます。深植えは、幹が常に湿った土の中にあることになり、幹から腐朽菌が入りやすくなりますので避けましょう。

(3) 幹巻き

植えつけに先だって、コモ、ワラ、縄などで幹を覆う方法があります。幹巻きは、樹皮からの水分の蒸散を防ぎ、移植時の樹皮の損傷防止や冬期の防寒にも役立ちます。大木で衰弱しがちな木を移植するとき、植栽地の環境が極端に変わるとき、強い日射や寒風にさらされる場所に移植するときなどにも、幹巻きを行います。

VIII サクラを植えた後の管理はどのようにするのですか？

1 支柱の設置と管理のしかた

(1) 支柱の目的

移植時は根系が切断されており、樹体を支えることができませんので、支柱を設置して植えつけ後の風による倒伏や、動揺を防止します。なお、樹高が1 m 前後の小さな苗は、特に風が強い場所以外では支柱の必要はありません。切断された根が回復するまでの期間は、高木類では一般に5年前後、大径木ではそれ以上といわれています。

(2) 支柱の種類

支柱のしかたには、写真－8－1に示すようないろいろな方法があり、植えた木の大きさに合わせ、その方法を選びます。なお、幹を支柱に固定する部分には、スギ皮等を当て幹と支柱がこすれないようにします。

- ① **1本支柱：**樹高1～3 m 前後の小さな木に用い、木のすぐ近くに支柱を1本立てて固定します。
- ② **3本支柱：**3 m以上の高い木や枝張りの大きい木に用い、3本の支柱を三脚状に組み合わせて固定します。八つ掛け支柱とも呼ばれます。
- ③ **鳥居型支柱：**支柱を鳥居型に組んで植えた木を固定します。鳥居にさらに支柱を1本加えたり、2組の2脚鳥居を組み合わせて、支持力を高めることもあります。



その1：1本支柱



その2：3本支柱



その3：鳥居型支柱

写真－8－1 主な支柱の種類

(3) 支柱の管理

支柱の管理のしかたは、支柱の設置方法によりさまざまですが、ここでは、樹高3～4 mまでの一般的な支柱の管理について紹介します。

支柱を長い間放置すると、植えた木は支柱に頼ってしまい、根が発達しないことがあります。また、幹がこすれて傷を付けてしまったり、幹に支柱や結束紐がくい込むなどの弊害が起こることがあります（写真－8－2～3）。

そのため、順調に生育している場合は、植えてから2～3年前後で支柱を外すほうが良いでしょう。植えつけ後の生育が悪い場合など、それ以上長い間、支柱をつけておく場合は、樹木が肥大成長しますので、結束紐は1～2年ごとに結び直します。また、結束紐の点検は毎年、定期的に行いましょう。



写真－8－2 支柱によって幹が損傷を受けた例



写真－8－3 結束紐が食い込んだ例

桜吹雪

桜吹雪とは、サクラの花びらが吹雪のように散り乱れることを言いますが、桜を心の花としている日本人には、その散り方に、「あざやかさ」や「美しさ」を感じさせます。なお桜吹雪は、花は咲き始めから4～5日以降に、強い風にさらされると見られます。

2 整枝・剪定の時期としかた

サクラ類は、基本的にはあまり剪定を必要とせず、特に、切り口から腐朽しやすいため、剪定をあまり好まない木です。しかし、罹病枝や極端に伸びた枝、また交通や建物などに障害となる枝などは剪定します。このとき、切り口には癒合剤などを必ず塗布し、雑菌の侵入を防ぎます。また、枝を切る場合は、腐朽が入りやすいので芽の上や枝の付け根を長く切り残さないようにします(図-8-1、写真-8-4)。

剪定の時期は、大きい枝の整理(切り落とし)は秋から冬の休眠期に行い、伸びすぎた枝先など軽度の剪定は春でも夏でもかまいません。



図-8-1 枝を切る位置



その1: 短く切る場合



その2: 切り落とす場合

写真-8-4 細い枝を切る位置

3 冬囲いのしかた

雪圧による幹や枝の折れ・抜け被害の回避ために行う冬囲いは、小さな木では1本支柱(写真-8-5)または3本支柱を立て、縄により枝と幹を結束します。なお、枝をすぼめるようにして縄で縛ったり、あるいは数本の支柱を立て上の方を縄で縛る方法などもあります。

一方、耐寒性のあまりないサクラ類を寒さから防ぐために行う冬囲いは、ムシロなどを用います。



写真-8-5 冬囲いの例

4 施肥のしかた

(1) 施肥の種類と時期

鶏糞、骨粉、油粕などの有機質肥料は、土壌改良効果もみられ、地力を維持することができます。そのほか、3要素を含んでいる高度化成肥料や固形肥料を使用したり、樹勢が著しく低下したものでは、ホルモン系の活性剤とともに速効性の肥料を葉面散布することもあります。また、根系に注入するパイプ肥料などを用いることもあります。

施肥の種類と時期は、春期には窒素(N)、リン酸(P)、カリ(K)を含んだものを、7月下旬以降はNを控え、PやK分の多い肥料を与えて耐寒性を増加させます。

(2) 施肥のしかた

- ① **輪状施肥法**: 枝先の下に地面に深さ5～10cm、幅10～20cm前後の溝を輪状に掘り、施肥します。
- ② **放射状施肥法**: 幹を中心に、枝先の下付近まで放射状に上と同様の溝を掘り、施肥します。
- ③ **ばらまき法**: 幹を中心に枝先の周囲まで、全面施肥します。
- ④ **穴肥法**: 枝先の下付近に直径20cm程度、深さ30cm程度の穴を木の大きさによって適宜掘り、主として有機質肥料を施します。

(3) 施肥の量

施肥量の目安は、表-8-1に示すとおりです。植えた木の大きさや生育状況により、施肥量を増減してください。

表-8-1 基準施肥量(1本当たり、g)

幼木(3m以下)			成木前(3～5m)			成木(5m以上)		
窒素	リン酸	カリ	窒素	リン酸	カリ	窒素	リン酸	カリ
8-10	5-10	5-10	10-15	10-15	10-15	15-20	15-20	10-15

5 灌水のしかた

通常は必要ありませんが、乾燥の激しい所や狭い植え桝などでは、2週間以上降水がなければ灌水したほうが良いでしょう。

IX サクラの病気や害虫にはどのようなものがありますか？

1 主な病害の診断と防除のしかた

(1) 胴枯病〔病原菌：*Valsa ambiens* (Persoon: FRIES) FRIES〕

《症状と特徴》

本病は、太い枝や幹を侵しますので、特に北海道のサクラが衰退する主な原因となっています。

病斑部は少しくぼみ、しばしばヤニが滲みでます。やがて病斑部には多くの小さな隆起が形成され、のちに隆起部分の樹皮が横に裂けて黒褐色の菌体の一部が露出します（写真－9－1）。

病斑が拡大して枝や幹を一周すると、巻き枯らし状態になって上部の枝幹が枯れます。春から夏にかけて、特定の枝についているすべての葉が茶色になってしおれている場合は、本病に罹っている可能性が高いといえます。

《防除法》

病斑や枯死した枝などは、発見次第、削り取るか切り取って処分します。このとき、一見健全にみえても、病斑の周囲や枯れ枝の基部などに病原菌が侵入している可能性があるため、健全部を含めて多めに切り取るようにします。

切り口は、癒合を促すためチオファネートメチル剤などの殺菌剤を塗布します。



写真－9－1 胴枯病



写真－9－2 幼果菌核病

(2) 幼果菌核病〔病原菌：*Monilinia kusanoi* (Hennings et Takahashi) Yamamoto〕

《症状と特徴》

エゾヤマザクラ、ソメイヨシノなど多くのサクラ類に発生し、特に春先に被害が目立ちます。

春、葉が展開して枝が伸びはじめた頃、葉や新梢、幼果に発生し、罹病した枝葉は熱湯をかけたようにしおれて垂れ下がります。やがて、これらの枝葉や若い果実には、灰白色の粉状物（病原菌の胞子塊）が生じ、同様の粉状物が生じます（写真－9－2）。

《防除法》

被害が目立ち気になりますが、実害は少ないので防除の必要はありません。

(3) サクラてんぐ巣病〔病原菌：*Taphrina wiesneri* (Rathay) Mx〕

《症状と特徴》

本病は幹に発生し、罹病（てんぐ巣）部分は、すぐには枯れませんがいずれ枯死します。また、病巣の多い激害木は樹勢が低下し、罹病した枝は花を着けないためサクラの観賞価値が著しく損なわれます。

幹や枝の一部から枝が異常に多く分岐して樹冠の一部が鳥の巣状やほうき状になり（写真－9－3）、罹病の基部はこぶ状に膨らみます。また、罹病した枝についている葉は、小形で少し縮れ、葉の裏がやや粉白色（菌体の一部が露出したもの）になったのち、早い時期に褐変して落葉します。

《防除法》

てんぐ巣病基部のこぶ状の部分を含めて患部を切り取り、焼却します。切り口には、チオファネートメチル剤などの殺菌剤を塗布します。ソメイヨシノは本病に罹りやすいので、多発地でサクラを改植する場合は、エゾヤマザクラやチシマザクラなど別の種類を植栽することを奨めます。



写真－9－3 てんぐ巣病

(4) 苗木がんしゅ病〔病原菌：Camarosporium persicae MAUBLANC〕

《症状と特徴》

本病は、エゾヤマザクラ、チシマザクラなどサクラ類のほか、ウメ、モモなど多くのサクラ属の苗木や若木の枝や幹に発生します。

初め、枝や幹の一部に水浸状の小さな褐変病斑ができ、これは徐々に拡大して患部はややくぼみます。しばしばヤニが滲みだし、細い枝や幹は1～2年で枯死します(写真－9－4)。また、病斑の拡大と停止を繰り返し、同心円状紡錘形の永年性がんしゅを形成することもあります。やがて患部の樹皮上などに小黑点(病原菌の菌体)が現れ、湿潤時にはこれから墨汁様物質(病原菌の胞子塊)が滲みだします。

《防除法》

本病に対する登録農薬がないため、薬剤による防除はできません。しかし、集団発生することがあるので、被害の早期発見につとめ、罹病した枝や幹は発見次第、切り取って焼却処分します。



写真－9－4 苗木がんしゅ病

蜜腺

大部分のサクラには、葉の基部周辺に甘味のある液汁を分泌する「蜜腺」と呼ばれる組織があります。蜜腺の着いている位置は、樹種によって多少異なっているため、樹種を見分けるときや品種の母種を推測するときの参考にします。

「スズメのサクラの蜜腺つつき」という諺があります。これは、スズメが葉の蜜腺をつついてサクラの蜜を吸う様子を見て、メジロやヒヨドリなどの他の鳥が、まねをして蜜を吸うことからきており、他人の行動をまねするときのたとえを指します。

(5) こぶ病〔病原菌：細菌の一種 (Pseudomonas sp.)〕

《症状と特徴》

本病は枝に発生し、激害木では樹冠全体に、こぶが鈴なりについているようにみえます。なお、激害木の隣の本が微害または健全なことも多く、本病に対する感受性は個体間差が大きいようです。

初め、小枝の片面に表面が粗い裂開した紡錘形のふくらみができ、このふくらみは枝の成長につれて年々大きくなり、やがて罹病した枝は枯死します(写真－9－5)。罹病患部からはヤニが滲みでており、乾燥時には目立ちませんが、降雨後には良く目立ちます。

《防除法》

本病に対する登録農薬がないため、薬剤による防除はできません。罹病枝が少ないときは切除して焼却処分し、切り口には殺菌と癒合を促進するためチオファネートメチル剤などを塗布します。なお、罹病枝が多くなってからの防除は困難なので、幼齢期からのこまめな観察と罹病枝の切除が防除の重要なポイントとなります。



写真－9－5 こぶ病

さくら湯

「さくら湯」とは、お見合いや婚礼などのおめでたい席に、サクラの花を塩漬けしたものをお湯に入れて飲むもので、お茶は「お茶を濁す」などと一時しのぎの意味に使われることから、お茶のかわりに出されるものです。

花の塩漬け材料には、花色が濃紅色で花径が大きく、30枚前後の花弁を持ち、樹勢が強く栽培しやすいサトザクラの1つ‘カンザン’が多く使われています。

2 主な虫害の診断と防除のしかた

(1) 幹や枝に潜る害虫（穿孔性害虫）

① コスカシバ *Synanthedon hector*



《症状と特徴》

成虫は樹皮の割れ目に産卵し、幼虫は最大長25mmで、幹や枝の樹皮の下に（写真上）侵入して食害します。食害部位からはヤニや褐色の虫糞が出ております（写真下）。被害は1年中みられ、害虫による食害などの傷が原因で胴枯れ病などが発生しやすいとされています。



《防除法》

被害部を発見したら切開して幼虫を捕殺し、切開後はチオファネートメチル剤などを塗布して切開部を保護します。

(2) 葉を食べる害虫（食葉性害虫）

① オビカレハ *Melcosoma neustria testacea*



《症状と特徴》

春にサクラやウメの枝の分枝部に群って糸で膜状の巣を作り、幼虫は人が近づくと激しく頭を振る習性があります。幼虫の体毛は長くて目立ち、体長は最大 60mmくらいになります。幼虫は6月中旬に蛹になり、約2週間を経て成虫が出現します。

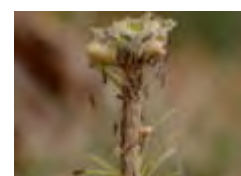
② エゾシロチョウ *Aporia crataegi adherbal*



《症状と特徴》

毛虫のときは気持ちが悪くても、かわいい蝶となる種も多くあり、エゾシロチョウもその一つで、枯れ葉を糸でつづり越冬巣を作り小さな幼虫で越冬し、サクラの芽が開く頃越冬巣から離れて集団で葉を食害します。

③ マイマイガ *Lymantria dispar praeterea*



《症状と特徴》

広食性で加害植物はカラマツやサクラ、ミズナラなどの広範にわたり針用樹・広葉樹、草本類など150種にもなるといわれ、10年前後の周期で大発生しますが3年くらいで終息します。卵で越冬し、5月上旬に幼虫はふ化し若葉を食べて成長します。6月中旬、4齢になると幼虫の食害量は急激に増大します。

④ ドクガ *Euproctis subflava*



《症状と特徴》

幼虫は最大長約40mmで、サクラやツツジ類など多くの広葉樹の低木を食害します。成虫、幼虫だけでなく、繭・蛹にも毒毛を持っており、皮膚に発疹とかゆみを生じるので注意が必要です。体がオレンジ色の2色なので、ほかと識別します。

⑤ モンクロシャチホコ *Phalera flavescens*



《症状と特徴》

幼虫はサクラケムシとも呼ばれ、サクラに異常発生して短期間のうちに葉を食いつくすことがあります。樹を衰弱させるばかりでなく花芽も食べますので翌年の開花に影響します。幼虫は夏に発生し、小さな時は茶色（左）、大きくなると黒くなり毛束が列状に生え、最大長50mmになります。年一回発生し、土中で蛹越冬します。

⑥ サクラスガ *Yponomeuta evonymellus*



《症状と特徴》

幼虫は最大長15mmで、エゾノウワミズザクラ、シウリザクラなどの枝や葉に集団で巣を張り、春に食害します。

⑦ オウトウナメクジハバチ *Caliroa cerasi*



《症状と特徴》

最大長約15mmで、6～9月に発生し、サクラやナナカマドの葉の表面を削るように食べます。

⑧ サクラヒラタハバチ *Neurotoma iridescens*



《症状と特徴》

最大長約20mmで、糸で巣を作り、数十頭の幼虫が群棲して葉を食害します。

⑨ マメコガネ *Popilia japonica*



《症状と特徴》

体長約10mmで、6～8月に新葉の葉脈を残して食害します。集合性が強く、1頭が食害を始めるのと次々と成虫が集まり10～20頭の集団ができ、その付近の葉を丸坊主にすることがあります。コガネムシの間では、他にヒメコガネ（体長約15mm）がサクラの葉を食べます。

《葉を食べる害虫の防除法》

数が少ないときは、注意して発見に努め捕殺します。毛虫などの幼虫が大量に発生しているときは、発生初期の薬剤防除が効果的で、トレボン乳剤2000倍液、DDVP乳剤75・1500～2000倍液、ディプテレックス粉剤などを散布します。

(3) 枝葉の樹液を吸う害虫（吸汁性害虫）

① カイガラムシ類

・セスジコナカイガラムシ *Dysmicoccus wistariae*



《症状と特徴》

体長約5mmで、春～秋に発生し、全体が白色で粉状の蠟物質で覆われています。

・ヒメクワシロカイガラムシ *Pseudoaulacaspis simplex*



《症状と特徴》

長さ約1mmで細長く白い色、または径2mm内外の円盤系で白～薄茶色をしていて、枝や幹にびっしりに寄生します。

《カイガラムシ類の防除法》

カイガラムシが多発すると樹勢を弱らせるばかりでなく、すす病を併発するため著しく美観を損ねます。カイガラムシの成虫は蠟質の殻に覆われていて、散布期をのがして薬剤散布をしてもほとんど効果をあげることができません。カイガラムシの卵のふ化時期が薬剤散布の適期で、種類によってふ化時期が異なりますので、その見極めが大事です。カイガラムシの殻の着いているあたりを10倍くらいの虫眼鏡で観察し、小さな幼虫の動くのが確認できたら薬剤散布をします。薬剤はビニフェート乳剤750～1000倍液、DDVP乳剤（DDVP乳剤75、デス75、ホスピット乳剤75、ラピック乳剤75）1500～2000倍液を使用します。この後、10日おきに2～3回継続して散布します。薬剤は説明書にしたがって使用し、周囲に飛散しないようにします。

② 葉にコブ等（虫えい）をつくるアブラムシ類

・サクラコブアブラムシ *Tuberocephalus sakurae*



《症状と特徴》

最大長1.5mmで、サクラの新葉が赤くでこぼこになって縮れます。

・サクラフシアブラムシ *Tuberocephalus sasakii*



《症状と特徴》

サクラの葉表に2～3cmの細長いコブをつくれます。

《葉に虫コブをつくる害虫の防除法》

いずれの種も発生量は少ない。気になるときは、被害葉をとりのぞきます。

3 主な獣害の診断と防除のしかた

(1) エゾヤチネズミ *Clethrionomys rufocanus bedfordiae*



《症状と特徴》

背色は黒褐色で、尾毛は少なく鱗環が見えます。体重は30～50g、頭胴長は40～60mm、後足長は19～22mmです。

草食性で、冬季に林木を食害し、大発生時にはあらゆる樹種の樹皮を食害します。

《防除法》

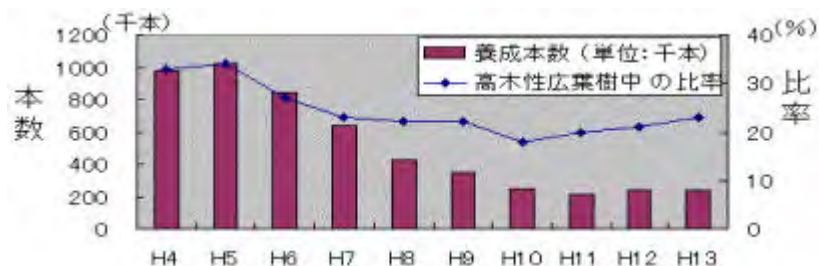
下草を刈り払い地表面をきれいにしておきます。金網、合成樹脂、塩ビ管などで地際部及び樹幹を覆う方法もあります。

X サクラの苗木はどのくらい作られていますか？

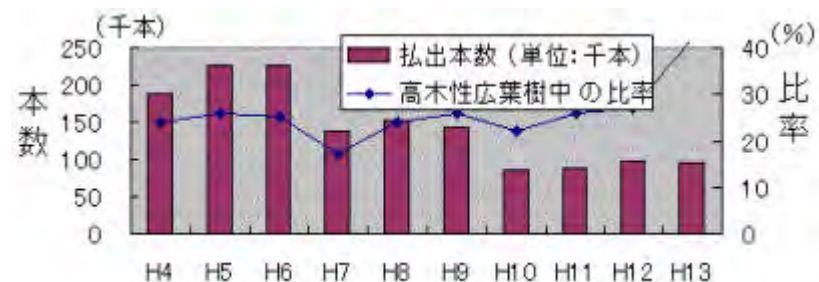
1 苗木の養成本数

最近 10 年間のサクラ類苗木の養成本数と払い出し本数の推移をみると（図－10－1～2）、養成本数は、平成5年をピークに減少傾向にあります。最近4年間は 21 ～ 25 万本で安定しています。一方、払い出し本数も、平成5年をピークに減少傾向にあります。最近4年間は9万本前後で安定しています。

なお、養成本数とは緑化樹木の生産業者が苗畑などで生産・保有している苗木の総数であり、払い出し本数とは売り払いのため生産者の苗畑などから他の場所へ手放した苗木の総数で、図に示す本数は緑化樹センターが毎年行っている実態調査の結果です。



図－10－1 サクラ類苗木の養成本数の推移



図－10－2 サクラ類苗木の払出本数の推移

2 植えられた本数

平成4年度以降に、北海道開発局、北海道の関係機関、市町村などで実際に使用されたサクラ類苗木の使用本数の推移は、表－10－1に示すとおりです。一部の統計資料が欠けていますが、ここ10年間の使用本数は毎年 2.2 万～4.5 万本で、近年やや減少傾向にあります。

表－10－1 サクラ苗木の使用実績の推移

	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
使用実績（千本）	33	45	—	—	—	—	33	34	26	22
割合（％）*	3.5	4.1	—	—	—	—	3.4	5.3	3.5	3.2

*：高木性樹木の中でのサクラの占める割合を示します。—：資料なし。

3 苗木の購入のしかた

（1）園芸市で購入する

各地で開催される産業まつりや秋の豊穰祭などで、園芸市が開かれ、庭木用としてサクラ類の苗木が販売されております。

（2）園芸店で購入する

春になると、大手スーパーのガーデニングコーナーや近くの園芸店の店先で、花や野菜の苗物と一緒に苗木を販売しています。

（3）種苗業者から購入する

サクラ類の苗木の生産業者の大半は、北海道山林種苗協同組合または北海道緑生会に加入しております。植えつけたい樹種や在庫量などの生産情報は、次に問い合わせると良いでしょう。

① 北海道山林種苗協同組合 ☎ 011-200-2211

② 北海道緑生会 ☎ 011-746-3636

（4）日本花の会から購入する

下記の会に加入することを条件に、サトザクラの園芸品種の苗木を優先的に購入できます。なお、公共配付に限られています。

① （財）日本花の会 ☎ 03-3584-6531

XI 北海道のサクラの名所はどこにありますか？

1 各地の名所の所在地と概要

(1) 札幌市・円山公園のサクラ



所在：札幌市中央区宮ヶ丘
交通：地下鉄東西線円山公園駅
樹種：エゾヤマザクラ，ソメイヨシノ，サトザクラ
本数：180本
直径：21cm，樹高：9m
問合せ：(財)札幌市公園緑化協会
☎011-211-2579

札幌の街づくりや，札幌神社（現・北海道神宮）造営の基礎づくりに功績のあった島義勇判官は，佐賀の乱を起こした罪で処刑されました。島義勇に仕えたことのある副玉仙吉が彼の死を惜しんで付近の山林からサクラ150本を山取りして，札幌神社の参道に献木したのが始まりといわれています。

(2) 札幌市・モエレ沼公園のサクラ



所在：札幌市東区丘珠町605ほか
交通：地下鉄東豊線環状通東駅
市バス69,79番乗車～モエレ公園東口
樹種：エゾヤマザクラ，カスミザクラ
本数：3,500本
直径：10～15cm，樹高：4m
問合せ：モエレ沼公園管理事務所
☎011-792-4054

モエレ沼公園には，樹齢20年前後のエゾヤマザクラがたくさん植えられています。サクラは若い木が多く，これまで開花量はやや少なかったのですが，年ごとにたくさんの花をつけるようになり，市民からも親しまれています。

(3) 江別市・野幌神社のサクラ



所在：江別市西野幌155
交通：バス共栄線上学田停留所（徒歩2分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約60本
直径：24cm，樹高：12m
問合せ：江別市環境課
☎011-381-1046

野幌神社は，北越殖民社が明治24年に「降神之处」として神標を同地に建て，関矢孫左右衛門が祭文を奉じたことが始まりとされています。サクラは，神社の境内にあり市民に親しまれています。また野幌神社では，毎年，秋の例大祭に野幌太々神楽が奉納されます。

(4) 江別市・^{せんこ えん}千古園のサクラ



所在：江別市東野幌374
交通：バス共栄線殖民社停留所（徒歩2分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：33本
直径：40cm，樹高：13m
問合せ：江別市環境課
☎011-381-1046

江別市の発展に大きな功績のあった民間開拓団体「北越殖民社」の二代目社長である関矢孫左右衛門の屋敷の一部が，江別市史跡として指定保存されています。大正七年，開拓の労をしのぶため「留魂碑」や茶室「道庵」を備える公園として整備され，市民の憩いの場となっています。

(5) 松前町・松前公園のサクラ



所在：松前町字松城・西館
交通：J R 海峡線木古内駅下車
バス松前行松城下車(徒歩5分)
樹種：エゾヤマザクラ、カスミザクラ、ソメイヨシノ、サトザクラほか250種類
本数：約10,000本
直径：20～70cm、樹高：8～12m
問合せ：松前町商工観光課公園係
☎01394-2-2275

文化年間に書かれた「松前歳時記草稿」には、梅やサクラなどが一斉に咲く春の美しさが記されています。現在は南殿・関山・糸括・雨宿・一葉などのサトザクラが多く、松前生まれの新品種も含め250種が植えられており、国内有数の品種数を誇っています。

(6) 松前町・光善寺の血脈桜



所在：松前町字松城303光善寺境内
交通：J R 海峡線木古内駅下車
バス松前行松城下車(徒歩5分)
樹種：サトザクラ(南殿)
本数：1本(単木)
直径：双幹のうち主幹108cm
樹高：8m
問合せ：光善寺
☎01394-2-2680

その昔、本堂改築のためサクラを切ることになった前夜、住職の枕元に美しい娘が現れ「明日にも死が迫る身、血脈(極楽浄土への証文)を授けて下さい」と懇願しました。翌朝、サクラの葉の間に前夜娘に与えた「血脈」が風にゆれていたことから、前夜の娘は「サクラの花の精」だと気づき、伐採は中止され、以来、このサクラは「血脈桜」といわれています。

(7) 森町・青葉ヶ丘公園のサクラ



所在：森町清澄町
交通：J R 森駅(徒歩10分)
樹種：カスミザクラ、ソメイヨシノ、サトザクラほか10余種類
本数：約1,500本
直径：50cm、樹高：13m
問合せ：森町商工観光課
☎01374-2-2181

明治の頃は草競馬の会場でしたが、大正3年にサクラが植えられ、以来、桜公園として親しまれてきました。毎年、森町桜まつりが開催され(約2週間)、歌謡ショーや町民参加型の盛りだくさんのイベントが行われています。

(8) 森町・オニウシ公園のサクラ



所在：森町上台町・清澄町
交通：国道5号沿い 道の駅隣接
樹種：ソメイヨシノ、サトザクラほか10余種類
本数：約1,000本
直径：40cm、樹高：10m
問合せ：森町商工観光課
☎01374-2-2181

青葉ヶ丘公園に隣接し、17.1haの広大な面積を有する公園で、昭和58年に完成しました。高さ10mの展望台からは市街地一円と内浦湾、駒ヶ岳、羊蹄山を望むことができます。タコの山、キノコのあずまや、鯨の水飲み場の遊具施設のほか、ロックガーデン、噴水広場、芝生広場もあり、家族や知友人達でくつろぐことのできる公園です。

(9) 八雲町・落部公園のサクラ



所在：八雲町落部
交通：J R 落部駅～3 km(車で5分)
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約110本
直径：20～30cm, 樹高：10～18m
問合せ：八雲町建設課
☎01376-2-2111

落部公園は、約4,600本のツツジの咲きほころぶところとしても有名ですが、サクラの花も見捨てたものではありません。「落部公園つつじまつり」は露天が並び、地元小学生の鼓笛隊演奏、民謡ショウ、カラオケ大会がくりひろげられ大勢の人出でにぎわっています。

(10) 八雲町・さらんべ公園のサクラ



所在：八雲町栄町
交通：J R 八雲駅～3 km(車で5分)
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約300本
直径：20～40cm, 樹高：8～18m
問合せ：八雲町農林課
☎01376-2-2111

昭和38年から公園整備が行われ、以来サクラを含めおよそ3,000本の木が植えられています。そのほか、池、花壇、野外ステージ、パークゴルフ場なども整備されています。公園の一角には清流で有名な遊楽部川がながれ、川面に浮かぶ人魚姫があたたく迎えてくれます。毎年、さらんべ公園桜まつりが催され、たくさんの人出でにぎわっています。

(11) 函館市・五稜郭公園のサクラ



所在：函館市五稜郭町
交通：函館市電五稜郭停車(徒歩15分)
樹種：ソメイヨシノ
本数：約1,600本
直径：43～122cm, 樹高：9m
問合せ：函館市緑化推進課
☎0138-21-3431

徳川幕府が北辺防衛のため、7年かけて築城した日本初の星型特別史跡内につくられた公園です。隣接した五稜郭タワー展望台(60m)からの眺めは、1,600本のサクラが一斉に咲き乱れ、堀の水面すべてを埋め尽くさんばかりの全景は豪華絢爛そのものです。

(12) 長万部町・長万部公園のサクラ



所在：長万部町字富野
交通：J R 長万部駅下車(車で10分)
樹種：エゾヤマザクラ
本数：476本
直径：20～30cm, 樹高：10m
問合せ：長万部町商工労政課
☎01377-2-2000

庭園やレクリエーション施設、テニスコートなどのスポーツ施設のある広大な総合公園で、春のサクラときには地元や近隣町からたくさんの人が集い親しまれています。

夏には、アヤメ(町花)の美しさもひとしおで、自然に親しむ憩いの場として人気が高く、バンガローを利用するオートキャンパーでにぎわいます。

(13) 江差町・逆川森林公園のサクラ

さかさかわ



所在：江差町鰯（うぐい）川
 交通：江差駅～17km（車で20分）
 樹種：エゾヤマザクラ，ソメイヨシノ，サトザクラ
 本数：約700本
 直径：20cm，樹高：7～8m
 問合せ：江差町農林水産課林業振興係
 ☎01395-2-1020

町民参加の公園づくりとして，昭和52年から継続してさくらの記念植樹が行われています。年々，公園内の施設が充実され，サクラの名所，森林の保健休養の場，町民の憩いの場として定着しています。

(14) 上ノ国町・花沢公園のサクラ



所在：上ノ国町字勝山
 交通：上ノ国駅～2km（車で3分）
 樹種：ソメイヨシノ
 本数：約150本
 直径：30cm，樹高：7m
 問合せ：上ノ国町水産商工観光課
 ☎01395-5-2025

公園はサクラ，エゾヤマツツジ，ナナカマドなどが植えられ，眼下には天の川が控え，日本海を一望することができ，格好の散策路となっています。敷地内にある花沢館は，古くは「花見袋の館」と呼ばれ，蛸崎秀繁の居館とされていますが，いつ建てられたのかは定かではありません。

(15) 厚沢部町・館城跡公園のサクラ

たてしろあと



所在：厚沢部町字城丘
 交通：江差駅～バス館町停留所下車（徒歩2分）
 樹種：ソメイヨシノ，サトザクラ
 本数：約800本
 直径：20cm，樹高：4m
 問合せ：厚沢部町企画商工課
 商工観光係
 ☎01396-4-3311

館城は，松前藩が徳川脱走軍の攻撃に備えて築いた陣屋です。明治元年，未完の状態で徳川軍に攻撃され，着工からわずか75日で消失してしまいました。桜並木の美しい公園として知られており，日本最北，最後の城で，昭和41年道の文化財史跡に指定されました。

(16) 乙部町・しびの岬公園のサクラ



所在：乙部町汐見
 交通：乙部町役場（車で10分）
 樹種：サトザクラ
 本数：約300本
 直径：30cm，樹高：12m
 問合せ：乙部町商工観光係
 ☎01396-2-2311

しびの岬は，国道229号線から約450m日本海に突き出した岬で，岩肌が鱈の鱗が幾重にも重なっているようにみえることから名づけられました。岬は格好の磯釣り場であり，春の公園にはサトザクラが咲き乱れ，展望台から眺めるダイナミックな日本海の景観は，乙部町民の誇りとなっています。

(17) 熊石町・熊石休養村のサクラ



所在：熊石町字平
交通：バス余湖商店前下車（徒歩5分）
樹種：ソメイヨシノ, サトザクラ
本数：約600本
直径：20cm, 樹高：6～7m
問合せ：熊石町水産商工観光係
☎01398-2-3111

熊石休養村は、平田内川上流に宝永3年（1706年）頃より湧出する温泉地にあります。露天風呂「熊の湯」は野趣を満喫できる温泉として有名ですが、その昔「怪我をした熊が湯治をした」といういい伝えがあり、名前の由来になっています。ソメイヨシノやサトザクラの並木は、日本海を望む景観とみごとに一致し、しばし時間を忘れさせてくれます。

(19) ニセコ町・曽我森林公園のサクラ



所在：ニセコ町字曽我39-5
交通：JR函館本線ニセコ駅下車～1km（車で約2分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約50本
直径：40～50cm, 樹高：8～10m
問合せ：ニセコ町建設課管理係
☎0136-44-2121

自然の樹木に囲まれた公園は、明治33年5月に国有未開地の払い下げを受け、曽我農場の一角に作られました。

地域の人たちの手により管理され、サクラの名所としても親しまれてきた由緒ある公園で、平成7年から「曽我森林公園」として整備してきました。木々の間から臨む羊蹄山の眺めは絶景で、軽スポーツのできる多目的広場や散策路などがあります。

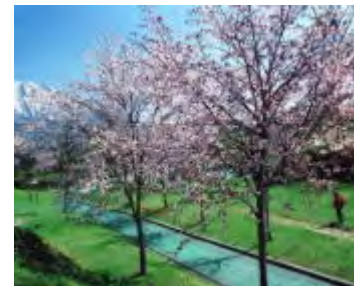
(18) 蘭越町・尻別川の桜つつみ



所在：蘭越町尻別川豊国橋下流
交通：JR函館本線蘭越駅下車～約1km（車で2分）
樹種：エゾヤマザクラ, ソメイヨシノ, サトザクラ
本数：約1,000本
直径：8～10cm, 樹高：3～5m
問合せ：蘭越町まちづくり推進係
☎0136-57-5111

尻別川は、後志管内最大の一級河川です。市街地に近い豊国橋下流左岸の堤外に、平成3年から7年度まで継続してサクラが植えられ、ランラン公園として町民のふれ合いの場として親しまれています。このほか堤外は、約1.2kmにわたってパークゴルフ場、テニスコート、ゲートボール場、多目的広場、親水路、遊具、あずまやが整備されています。

(20) 倶知安町・旭ヶ丘総合公園のサクラ



所在：倶知安町字旭
交通：倶知安駅～約1km（車で3分）
樹種：エゾヤマザクラ, ソメイヨシノ
本数：約200本
直径：15cm, 樹高：5m
問合せ：倶知安町住宅都市課
☎0136-22-1121

昭和31年に旭ヶ丘総合公園を開設して以来、町民にサクラの名所として親しまれてきました。その中でも、昭和59年に整備された「わんぱく広場」の桜並木は、今ではみごとに花を咲かせています。

(21) 小樽市・長橋なえぼ公園のサクラ



所在：小樽市幸1丁目
交通：バスなえぼ通り下車（徒歩5分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約5,000本
直径：27cm，樹高：15m
問合せ：小樽市公園課
☎0134-32-4111

市民から、長橋の「なえぼ」として親しまれている公園です。サクラは海拔50～120mのところに9haがあり、エゾヤマザクラが植えられています。明治の桜（明治35年植栽）、大正の桜（大正5年植栽）が主体で古木が多くみられます。

中央園路は沢すじにあるため、芝生広場から対面の明治のサクラを遠望することができ、大パノラマのサクラを楽しむことができます。

(22) 小樽市・手宮公園のサクラ



所在：小樽市手宮1～3丁目
交通：小樽駅～バス手宮下車（徒歩5分）
樹種：エゾヤマザクラ，ソメイヨシノ
本数：約700本
直径：20cm，樹高：10m
問合せ：小樽市公園課
☎0134-32-4111

手宮公園は、小樽港の北部、海拔50～80mの高台に位置し、市街地や日本海を一望できます。サクラは、大正4年に篤志家や手宮町民が植樹したといわれています。園内には、自然林としては北限といわれている栗林があり、ツツジ約7,500本が植えられ、みどりと花の公園として市民に親しまれています。

(23) 夕張市・夕張^{ろくめいかん}鹿鳴館のサクラ



所在：夕張市鹿の谷2丁目
交通：JR鹿ノ谷駅（花園橋を渡り徒歩7分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約70本
直径：12～50cm，樹高：5～10m
問合せ：夕張市農林課
☎01235-2-3131

夕張鹿鳴館は、北海道炭鉱汽船（北炭）が役員や来賓の接待などのため、北炭夕張鹿ノ谷倶楽部として大正2年に建てたものです。本館と2つの別館を合わせ、30余室、総面積延べ1,600㎡あり、当時の建築技術の粋を集め、ぜいを尽くした本格的な和風建築物です。昭和59年に夕張市の所有となり、一般公開され、庭園のサクラもあたたかく迎えてくれます。

(24) 栗山町・栗山公園のサクラ



所在：栗山町桜岡2丁目
交通：役場～約1km
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約200本
直径：20～26cm，樹高：5～8m
問合せ：栗山町商工観光課
☎01237-2-1111

昭和56年から9ケ年の歳月をかけて、総合公園として完成しました。総面積23.9haの公園内には、野球場、SL広場、キャンプ場、テニスコート、展望台、動物園、冒険コース、スキー場などが配され、栗山町民の憩いの場として、一年を通して楽しめる公園です。なお、隣接して国蝶オオムラサキを飼育しているファールブルの森もあります。

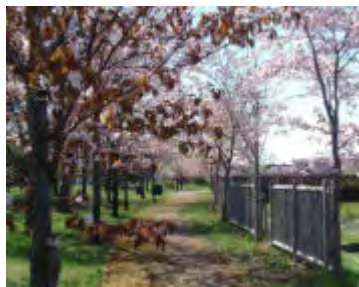
(25) 岩見沢市・^{ぎよくせんかん}玉泉館跡地公園のサクラ



所在：岩見沢市東山町
 交通：J R岩見沢駅～2.7km
 バス競技場前（徒歩5分）
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：約150本
 直径：5～40cm，樹高：4～8m
 問合せ：岩見沢市街づくり
 推進課
 ☎0126-23-4111

昭和54年まで温泉旅館「玉泉館」の庭園として親しまれていた跡地を、岩見沢市の公園として整備した庭園です。春はサクラ，秋には紅葉が美しく，池を中心に公園内を周遊できる散策路やあずまやが設けられ，四季をとおして楽しむことができます。また，太鼓橋で結ばれた中島には茶室「玉泉庵」があり，静かな庭園の中で茶の湯を楽しむことができます。

(26) 岩見沢市・^{とねべつ}利根別川千本桜と^{やましち}山七公園のサクラ



所在：岩見沢市7条東8丁目
 交通：バスガーデンテラス前下車
 J R岩見沢駅～1.8km
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：1,170本
 直径：3～35cm，樹高：3～8m
 問合せ：岩見沢市街づくり
 推進課
 ☎0126-23-4111

古くからサクラの名所として市民に親しまれている公園で，花見のシーズンには家族連れや会社のグループでにぎわいます。また，この公園と接して市街地を流れる利根別川沿いに，市民の手で千本のサクラが植えられ，約4kmの桜並木の散歩道が整備されています。

(27) 長沼町・^{あずま}東庭園のサクラ



所在：長沼町東6線北3
 交通：長沼町役場～3km
 バス長沼温泉下車（徒歩5分）
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：5本
 直径：20～40cm，樹高：8m
 問合せ：長沼町商工観光課
 ☎01238-8-2111

東庭園は，東重治郎氏が明治29年以来長年丹精込めてつくりあげ，昭和42年に農林省の農家屋敷林コンクールで北海道で初めて入選したことのある由緒ある庭園です。昭和50年，町に寄贈され，一般に開放されており，面積およそ1万㎡の中には四季とりどりの花や樹木，約400種が植えられています。

(28) 三笠市・観音山公園のサクラ



所在：三笠市本郷
 交通：バス宮元町下車（徒歩5分）
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：約500本
 直径：18～30cm，樹高：5～8m
 問合せ：三笠市農林課
 ☎01267-2-3996

市街地の裏山は，三笠山と呼ばれていますが，大正2年に大凶作にあい，地元の人たちが豊作を祈願するため，四国八十八カ所になぞらえ三十三カ所の地藏観音像を祀ったことから，観音山とも呼ばれるようになりました。市では，この山を1971年から風致見本林としてサクラやスギ，アカマツなどを植えて保全に努めています。

(29) 美唄市・東明公園のサクラ



所在：美唄市東明町2区
 交通：JR美唄駅西口下車
 バス東明公園下車
 樹種：エゾヤマザクラ、ソメイヨシノ、サトザクラ
 本数：1,634本
 直径：15～30cm、樹高：5～10m
 問合せ：美唄市都市計画課
 ☎01266-2-3131

東明の丘陵地帯にある公園で、空知管内随一のサクラとツツジ（約5,200本）の名所です。春には、桜まつりが盛大に行われます。サクラにつづいてエゾムラサキツツジが色鮮やかな紫色に咲き誇り、秋には紅葉も楽しめます。また、市内を一望できる展望台「スペースカリヨン」も設置され、市内外からサクラやツツジを楽しむため大勢の人が訪れています。

(30) 奈井江町・にわ山森林自然公園のサクラ



所在：奈井江町字東奈井江59
 交通：奈井江駅～約4km
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：約1,800本
 直径：20～36cm、樹高：7～10m
 問合せ：奈井江町ふるさと産業課
 ☎0125-65-2809

およそ100haの、にわ山森林自然公園は、展望台が2基設置されており、雄大な石狩平野を実感できるほか、青空の下でサクラを観賞したり、みどり豊かな自然を身近に満喫できるところです。

平成7年～12年に、センターハウス展望台などの整備が完了し、13年6月に公園がオープンしました。フィンランド産の木材で作ったセンターハウスは、水洗トイレ、炊事場などが完備され、車椅子でも利用できる施設となっています。

(31) 新十津川町・ふるさと公園のサクラ



所在：新十津川町字総進189
 交通：新十津川市街～約5km
 バスふるさと公園下車
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：100本
 直径：20～30cm、樹高：5～7m
 問合せ：新十津川町産業振興課観光係
 ☎0125-76-2924

ふるさと公園は、50haの広大な面積を有し、スポーツ・文化・レクリエーションの総合公園です。毎年4月下旬に公園開きが行われ、ゴールデンウィークには大勢の人が訪れ、にぎわいをみせています。サクラの木の下では、寝転がって春の日射しを受け止めている人や家族連れで花見を楽しむ人などが、楽しい休日を過ごしています。

(32) 新十津川町・吉野小学校林のサクラ



所在：新十津川町字吉野100-4
 交通：新十津川市街～約13km
 バス吉野小学校前下車
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：1,000本
 直径：20～30cm、樹高：7～10m
 問合せ：新十津川町産業振興課観光係
 ☎0125-76-2924

吉野小学校裏にある「夢色の森」は、ゴールデンウィークともなるとピンク色の衣をまとい、多くの人々の心を和ませてくれます。春の陽気に誘われ保育所の子もたちや地域の人たちが花見に訪れ、柔らかな笑い声があちらこちらにひびきわたります。「夢色の森」は、吉野地域の方々が力を合わせて植樹をし、愛情を込め大切に守り育ててきたサクラです。

(33) 浦臼町・鶴沼公園のサクラ



所在：浦臼町字キナウスナイ
 交通：バス鶴沼公園下車(徒歩1分)
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：約1,000本
 直径：10～30cm, 樹高：4～8m
 問合せ：浦臼町農政課商工観光係
 ☎0125-68-2111

国道275線沿いにある沼には、昔、鶴がいたといわれており、昭和50年代初めから鶴沼公園として整備されてきました。鶴を形どった中島があり、延長1,300mの遊歩道で沼を囲み、鮮やかなサクラの花や若葉萌ゆる木々が水面に映り、自然との調和が美しい所です。園内にはボートやテニスコート、オートキャンプ場などのレジャー施設や心から温まる温泉が整備されています。

(34) 砂川市・北光公園のサクラ



所在：砂川市西3条北9～10丁目
 交通：砂川駅～約1km(徒歩15分)
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：約2,100本
 直径：10～30cm, 樹高：4～10m
 問合せ：砂川市土木課緑化係
 ☎0125-54-2121

市の北西部にあり、昭和7年に個人が石狩川の堤防敷地を借り受け公園化に着手、その後、庭木や庭石、五重塔などの寄贈があって現在の風光明媚な日本庭園が整備されました。

石狩平野が広がる広大な土地に、春にはサクラやツツジなどの花が咲きほころび、湖面ではヨット、カヌーが風にそよぎ快適な散策が楽しめます。

(35) 赤平市・赤平公園のサクラ



所在：赤平市美園町3丁目
 交通：JR赤平駅(徒歩10分)
 バス市役所前下車(徒歩5分)
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：160本
 直径：18～24cm, 樹高：8～12m
 問合せ：赤平市土木課管理係
 ☎0125-32-2211(内線339)

小高い丘に広がる7haの公園内には、160本のサクラのほか、市街地を一望できる展望台、池、藤棚などがあります。池のほとりから山すそにある展望台まで、サクラをゆっくり楽しむことができます。公園内には緑が多く、花や樹木、野鳥の観察などで多くの市民が憩うところとなっています。

(36) 滝川市・滝の川公園のサクラ



所在：滝川市二の坂町東3丁目2
 交通：滝川駅～5km
 バス体育センター下車
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：約120本
 直径：20～40cm, 樹高：8～10m
 問合せ：滝川市維持課
 ☎0125-23-1234

滝の川公園一帯は、屯田兵の練兵場として文武両道面に活用された市民ゆかりの地です。早くから公園として市民に親しまれ、静と涼を求める人々に豊かなサクラとみどりを与えています。

スポーツ施設の整備とともにスポーツに汗する人々も増え、木陰で憩う健康な姿は未来の滝川を象徴しています。

(37) 芦別市・旭ヶ丘公園のサクラ



所在：芦別市旭町641
 交通：芦別駅（徒歩20分，車で8分）
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：約1,000本
 直径：30cm，樹高：8m
 問合せ：芦別市都市建設課維持係
 ☎01242-2-2111

昭和43年，開道100年事業として市街地を見下ろせる景勝地に造られた約21haの公園です。公園の中央部には，サクラやムラサキツツジなど，花木類が90種8,500本が植えられています。春はサクラやツツジなどの花々の競演を楽しめ，園内の小動物園では，サル，エゾシカ，キタキツネ，ロバなどたくさんの動物をみることができます。

(38) 歌志内市・歌志内公園のサクラ



所在：歌志内市字本町
 交通：バス歌志内市街停下車（徒歩5分）
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：約1,000本
 直径：30cm，樹高：10m
 問合せ：歌志内市商工観光課観光振興係
 ☎0125-42-2058

歌志内公園は，市の中心街に隣接しており，かつて労働災害の絶えなかった炭鉱の厄災を払うために創立された歌志内神社を中心に，エゾヤマザクラをはじめカエデやツツジなどが植えられ，市民の憩いの場として利用されています。毎年5月には，商工会議所主催の桜まつりがにぎやかに開かれています。

(39) 深川市・桜山公園のサクラ



所在：深川市一已町字一已1863
 交通：バス桜山公園下車
 （徒歩5分）
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：約900本
 直径：10～40cm，樹高：3～8m
 問合せ：深川市商工労政課商工観光係
 ☎0164-26-2264

サクラの名所として知られる桜山公園は，ウッドチップを敷きつめた2kmのパワーアップロードでの散策やジョギングを楽しむことができます。自然の起伏を利用した本格的林間コースのあるパークゴルフ場で心地よい汗を流したり，休日に家族そろって自然とふれながら遊ぶことのできる格好の場所です。

(40) 深川市・丸山公園のサクラ



所在：深川市一已町字一已2578-78
 交通：バス私道3番通り下車
 （徒歩10分）
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：約500本
 直径：10～40cm，樹高：3～8m
 問合せ：深川市商工労政課商工観光係
 ☎0164-26-2264

小高い丘に造られた約11haの自然にあふれた市民公園で，正面の203段の石段を上りつめると展望台があり，イルムケツの山並みや深川の町並みが一望できます。春はサクラやカタクリ，夏は森林浴，秋は紅葉がみごとでハイキングなどでにぎわいます。昭和56年に北海道から鳥獣保護区に指定され，バードウォッチングの格好の場所としても親しまれています。

(41) 旭川市・旭山公園のサクラ



所在：旭川市東旭川町倉沼
交通：J R旭川駅～約10km（車で40分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約2,400本
直径：25cm，樹高：12m
問合せ：旭川市土木管理課公園管理係
☎0166-25-5375

旭川公園は、旭川市の郊外に位置し、サクラの木は、大正初期に屯田兵として入植した時に1,000本植えて以来、その後、青年団らが植えるなどして、現在2,400本を有しています。自然につつまれた丘陵地に広がる公園は、天然の美林がよく保存され、春はサクラの名所として多くの市民でにぎわい、夏はハイキング、秋は紅葉、冬はスキー場として利用されています。

(42) 旭川市・神楽岡公園のサクラ



所在：旭川市神楽岡
交通：J R旭川駅～約3 km（車で15分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：500本
直径：50cm，樹高：20m
問合せ：旭川市土木管理課公園管理係
☎0166-25-5375

神楽岡公園は、市の中心部より南3 kmに位置し、総合公園として整備され、隣接する忠別川の清流が閑静な自然景観を呈しています。大正時代に植えられたサクラが500本ほどあり、満開時には多くの市民が花見に訪れています。現在も残されている多くの自然林は、野鳥や小動物と身近にふれあう場としても親しまれています。

(43) 北竜町・金比羅公園のサクラ



所在：北竜町字三谷
交通：北竜町役場～8 km（車で約12分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約300本
直径：20～30cm，樹高：5～8 m
問合せ：北竜町農政課
☎0164-34-2111

金比羅公園は、春に300本ほどのサクラと芝桜が咲き誇る名所で、山頂からは一面に広がる水田と石狩川や雨竜川が一望できます。公園内は、休憩所や野外バーベキュー施設、炊事場、トイレなどが設置され、キャンプをすることも可能です。新四国八十八カ所の巡路を、心静かに探索してみるのもいいものです。

(44) 当麻町・当麻スポーツランドのサクラ



所在：当麻町市街6区
交通：J R当麻駅～約3 km
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約500本
直径：16cm，樹高：8 m
問合せ：当麻町農林課林務係
☎0166-84-2111

当麻町市街地に隣接する標高292mの当麻山は、西側山麓に多くのエゾヤマザクラが自生しており、約310種の植物が生育していることから、近年は、各種記念植樹やボランティアによって、毎年50本前後のエゾヤマザクラが植栽され、その数をふやし、隣接するフィールドアスレチックやキャンプ場に訪れる多くの人の目を楽しませています。

(45) 富良野市・朝日ヶ丘公園のサクラ



所在：富良野市御料
交通：富良野駅～5km
バス御料1線下車
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約3,000本
直径：50cm, 樹高：15m
問合せ：富良野市耕地林務課
☎0167-39-2310

朝日ヶ丘公園は、富良野市街南西部にあるサクラの名所です。昭和7年に新四国八十八カ所の発所を記念して植えられたもので、3,000本のサクラやツツジが人々の目を楽しませてくれます。昭和25年に毎日新聞社の「日本観光地100選」に入選し、昭和30年には公園一帯が道立自然公園に指定されました。

(46) 富良野市・東大樹木園のサクラ



所在：富良野市山部
交通：富良野駅～5km
バス演習林苗畑下車
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約500本
直径：50cm, 樹高：18m
問合せ：富良野市耕地林務課
☎0167-39-2310

東京大学北海道演習林は、富良野市中央部から南部に広がる日本最大の演習林で、明治32年に開設され、針葉樹や広葉樹など樹種の豊富なことでも知られています。国道38号線沿いのサクラは、昭和4年に昭和天皇御即位の御大典記念として植えられたもので、並木が一斉に開花した光景はじつに素晴らしいものです。

(47) 和寒町・塩狩峠の一目千本桜



所在：和寒町字塩狩
交通：JR塩狩駅（徒歩1分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：1,600本
直径：16～24cm, 樹高：5～12m
問合せ：和寒町企画商工課
☎016532-2421

塩狩峠は、市街から約8km南にある標高274mの峠で、三浦綾子の同名小説でも有名ですが、その峠に昭和52年から「一目千本桜」をめざしてエゾヤマザクラが植えられました。近くに三浦綾子の旧宅を復元した「塩狩峠記念館」があり、三浦文学の原点に触れることもできます。また、国道沿いには塩狩温泉があり、皮膚病と胃腸病に効能があります。

(48) 和寒町・三笠山自然公園のサクラ



所在：和寒町字三笠
交通：JR和寒駅～約5km
和寒IC～500m
樹種：エゾヤマザクラ, チシマザクラ
本数：800本
直径：20～30cm, 樹高：7～12m
問合せ：和寒町企画商工課
☎016532-2421

三笠山自然公園は、市街から南に約2kmほど離れた小高い丘に位置し、12.8haの園内にはエゾヤマザクラ、レンゲツツジ、ナナカマドなど約2,000本が植えられ、展望広場やキャンプ場、各種の遊具施設が備わっております。毎年5月上旬には夜桜まつりが開催され、ライトアップされたサクラをみながらバーベキューを楽しむことができます。

(49) 士別市・九十九山のサクラ



所在：士別市東8条北1丁目
交通：JR士別駅～約3km
士別軌道北回り線
神社下車
樹種：エゾヤマザクラ
本数：2,000本
直径：30～50cm, 樹高：8～15m
問合せ：士別神社
☎01632-3-2421

九十九山は、市街地の北東にある小高い丘で、毎年5月の中旬に、約2,000本のエゾヤマザクラが全山一斉に咲きそろい、道北随一のサクラの名所としてにぎわっています。明治32年、屯田兵最後の百戸がこの地に入植し、そのうちの戸が火災にあって離村したため、残りの99戸によって開拓が始められたことにちなみ、九十九山と呼ばれています。

(50) 風連町・日進湖畔のサクラ



所在：風連町日進
交通：JR風連駅～9km(車で15分)
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約300本
直径：20～30cm, 樹高：8～13m
問合せ：風連町企画商工課商工労働
観光係
☎01655-3-2511

日進湖は、市街地から南東へ約10kmに位置し、湖畔には昭和39年頃から地元住民によりエゾヤマザクラが植えられ、現在は日進湖畔美化協力会の手によって植樹が引き継がれています。5月中旬にみられるサクラの花は、御料ダムの湖水とよくマッチし、四季折々の草花のいりどりも見事で、町内外から多くの人々が訪れ、ゆったりと自然を楽しんでいます。

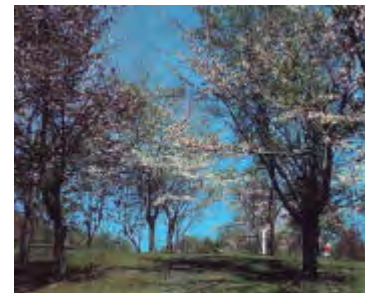
(51) 名寄市・弥生公園のサクラ



所在：名寄市弥生
交通：名寄駅(車で30分)
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約200本
直径：22～30cm, 樹高：10～15m
問合せ：名寄市管理課
☎01634-3-2111

弥生公園は、名寄市のもっとも古いサクラの名所で、廃止されたローカル線(深川～名寄間)の旧天塩弥生駅の近くに 있습니다。市内のサクラの自然群生地としてももっとも規模が大きく、本数も多く約200本のサクラが一斉に咲きます。寒風吹きすさぶなか、風よけをつくりジンギスカンをつついて花見を楽しむのも、道北ならではの風物詩です。

(52) 留萌市・神居岩公園のサクラ



所在：留萌市字マサリベツ
(神居岩スキー場に隣接)
交通：留萌市市街(車で10分)
樹種：エゾヤマザクラ, ソメイヨシノ, サトザクラ
本数：約1,000本
直径：14cm, 樹高：7m
問合せ：留萌市都市計画課
☎0164-42-1801

昭和56年から、道北一のサクラの名所づくりを目的として、市民の記念植樹により造成している桜公園です。道北では珍しい‘普賢像’などの数多くのサトザクラが、毎年美しい八重の花を咲かせ、時季になると近隣からも多くの花見客が訪れます。公園内には、自然の地形をそのまま活かしたパークゴルフ場、森林散策のための遊歩道などの施設が整備されています。

(53) 初山別村・有明サクラロード



所在：初山別村字有明
延長：約7km
交通：初山別村役場～約15km
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約1,800本
直径：6cm, 樹高：4m
問合せ：初山別村産業課
☎01646-7-2111

道々有明天塩停車場線の7線沢から、有明ダムまでの約7kmの沿線に整備された桜並木ロードです。道内の他の地域では例をみない長い区間と、地域住民の手作りの桜並木が自慢です。サクラの開花は、里から有明ダムまでの7kmの区間を、約2週間かけてゆっくりと咲いていきます。

(54) 歌登町・うたのぼり健康回復村の千本桜



所在：歌登町辺毛内
交通：歌登町市街～7km(車で8分)
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約1,000本
直径：14cm, 樹高：4m
問合せ：うたのぼり健康回復村
管理事務所
☎01636-8-2772

健康回復村は、広葉樹に包まれた憩いの森です。千本桜は昭和62年に植栽されたもので、その他にふれあいの森もあり、森林浴や散策で心身ともリラックスできる場所です。健康回復村は、全国的にも珍しい自治体直営の手作りリゾート地で、240haの広大な敷地には宿泊施設やキャンプ場が整備されています。

(55) 利尻町・天然記念物のチシマザクラ



所在：利尻町仙法志(国有林内)
交通：杓形フェリーターミナル
～8km(さらに徒歩3時間)
樹種：チシマザクラ
本数：不明
直径：5cm, 樹高：1m
問合せ：利尻町商工観光課商工観光係
☎01638-4-2345

標高700m付近に自生するチシマザクラは、昭和8年に牧野清三氏によって発見され、その群落の大きさが貴重であることから、昭和43年に北海道の天然記念物に指定されました。自生地はハイマツとチシマザサに覆われ、群落へたどり着くまでの道のりは大変厳しいのですが、標高の低いところではミヤマザクラもみることができます。

(56) 稚内市・稚内森林公園のサクラ



所在：稚内市ヤムワッカナイ
交通：JR稚内駅～3km(車で6分)
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約800本
直径：35cm, 樹高：5m
問合せ：稚内市農政課農林事業係
☎0162-23-6161

森林公園は、市民の憩いの場として昭和48年に造成され、エゾヤマザクラが市民参加の植樹祭で植えられてきました。これらのサクラは当初の10年くらいは厳しい気象のために生育が良くなかったのですが、北の風雪にうち勝ち、現在は毎年5月中旬になると一斉に華やかな花を咲きほころばせ、市民の心をいやしてくれます。

(57) 清里町・光岳小学校丸山営繕林のサクラ



所在：清里町字神威1056
交通：J R札弦駅～700m
バス光岳小学校下車
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約200本
直径：20～44cm，樹高：14～20m
問合せ：清里町立光岳小学校
☎01522-6-2009

丸山営繕林の歴史は、昭和9年に前身校舎の落成に伴う校地整備のための寄贈により、地域の人たちでエゾヤマザクラやイチイなどを荷車で運んで造成したもの、と卒業生の「思い出誌」に記されています。営繕林にはエゾヤマザクラの樹齢80年以上の古木36本を含む200本のほか、77種 1,200本以上の樹木が茂っており、古木は毎年立派な花を咲かせています。

(59) 津別町・双子の桜



所在：津別町字共和
交通：津別市街～阿寒方面 2 km
樹種：エゾヤマザクラ
本数：2 本
直径：33・41cm，樹高：6・8m
問合せ：双子の桜ファンクラブ
☎01527-6-4911

双子の桜とは、「つべつ木材工芸館」裏の小高い丘に、厳しい環境に立つ2本のエゾヤマザクラを指します。静かに寄り添う2樹の姿を双子にたとえ、お互いかばいあって生きているかのようにもみえ…みる人の心に不思議なメルヘンを与えてくれます。昭和61年、この「双子の桜」をとりまく景観を保護していくため、ファンクラブが結成されています。

(58) 網走市・天都山のサクラ



所在：網走市天都山
交通：J R網走駅～バス天都山（流氷館）下車
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約1,000本
直径：4～50cm，樹高：2～18m
問合せ：網走市観光課
☎0152-44-6111

“天上の都で遊ぶ心地がする”というところから名づけられたのが標高207.7mの天都山です。天都山は視界をさえぎるものがあまりないので、網走市街や網走国定公園の全容のほか、知床半島や阿寒の山々の大パノラマを一望することができます。天都山では、約千本のエゾヤマザクラが5月中旬に咲き、開花に合わせて桜まつりが催されています。

(60) 北見市・金刀比羅山公園のサクラ



所在：北見市常川
交通：ふるさと銀河線上常呂駅～1.5km（車で3分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約650本
直径：30cm，樹高：10m
問合せ：上常呂地区総合開発期成会
☎0157-39-3355

大正4年に、香川県琴平町の金比羅山神社から金刀比羅山山頂に神社を分神し、昭和2年から山頂に至る参道の両側にサクラが植えられ、今日では公園として利用されサクラの名所になっています。地元では、さらに神社と上常呂駅を結ぶ道路の両側に1,400本のサクラを植栽し、その保護育成に力を入れています。

(61) 置戸町・南が丘公園のサクラ



所在：置戸町字置戸284-29
交通：ふるさと銀河線置戸駅（車で3分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約170本
直径：20cm，樹高：7m
問合せ：置戸町林務商工課観光係
☎0157-52-3311

南が丘公園は、置戸市街の南側の山裾を利用してつくられた町民憩いの広場です。サクラのほかトドマツやミズナラをはじめとする植物が豊富で、美しい四季を堪能することができます。バードウォッチングのポイントとして愛好家の間で評価が高く、キセキレイやアカゲラ、クマガエラを目にすることができ、木製遊具も完備され、アヒルやウサギとふれあうこともできる公園です。

(62) 遠軽町・太陽の丘えんがる公園のサクラ



所在：遠軽町丸大
交通：J R遠軽駅～3 km（車で3分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約4,000本
直径：10～20cm，樹高：5～15m
問合せ：遠軽町農林商工観光課
☎01584-2-4811

市街地の中央にそびえ立つ巨大な「がんぼう岩」は町のシンボルであり、この岩を中心とした広大な丘にレジャー公園が整備されています。春は4,000本のサクラやツツジ、芝桜が咲き、秋には800万本のコスモスやヒマワリが虹のごとくに咲くことから、「虹のエリア」と呼ばれています。

(63) 上湧別町・五鹿山公園のサクラ



所在：上湧別町字北兵村2区
交通：J R遠軽駅～17km（車で3分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約100本
直径：20～40cm，樹高：10～18m
問合せ：上湧別町企画商工課
☎01586-2-2111

五鹿山公園は、古くからサクラの名所として知られており、町内外からの花見客がたくさん訪れています。五鹿山は標高125mの小さな山ですがオホーツク海やサロマ湖を一望することができ、春はサクラに水芭蕉、夏はキャンプにパークゴルフ、秋は紅葉、冬はゲレンデスキーやクロカンスキーと、通年楽しめる公園です。

(64) 滝上町・滝上公園のサクラ



所在：滝上町元町
交通：役場～約1 km（車で3分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約100本
直径：20cm，樹高：7 m
問合せ：滝上町商工観光課
☎015829-2111

滝上公園は、大正11年、木材業者であった飯田嘉吉氏から一千本のサクラ苗木の寄贈を受け、地元住民によって植栽され、今日の滝上観光のさきがけとなる網走管内随一のサクラの名所でした。その後、台風による風倒など木々の傷みがみられ、昭和33年頃から補植と林床に芝桜の増殖を繰り返しました。現在は、公園を訪れる人々を別世界に誘う観光名所になっています。

(65) 室蘭市・富士下のサクラ



所在：室蘭市母恋北町1丁目
交通：JR母恋駅（徒歩5分）
樹種：エゾヤマザクラ、ソメイヨシノ、シダレザクラ
本数：240本
直径：20cm，樹高：6m
問合せ：日綱工営(株)建設緑化部
☎0143-24-2744

室蘭市母恋駅の右手にみえる標高130mの母恋富士は、市民に親しまれている山で、市内最大のサクラの名所です。昭和38年、有志がサクラの名所を造成しようと同好会を発足させて以来、30余年近く地域の人達が手塩にかけて育ててきたもので、約500mの両側に植えられた並木は、「富士下の桜並木」と呼ばれており、市民自慢の名所です。

(66) 洞爺村・老三樹のサクラ



所在：洞爺村字洞爺町
交通：バス洞爺村停留所前下車（徒歩1分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：1本
直径：18cm，樹高：7m
問合せ：洞爺村商工観光課
☎0142-82-5111

明治20年頃、エゾヤマザクラ、ハリギリ、ヤマグワの三樹が自然に一株のように生えている奇木を発見し、人々は相互扶助による開拓精神のシンボルとして大事に愛してきました。その後、エゾヤマザクラは枯死し、昭和52年から二代目となっていますが、開拓移住ゆかりの樹として北海道記念保護樹木に指定されており、ヤマグワは千年の樹齢を超えているといわれています。

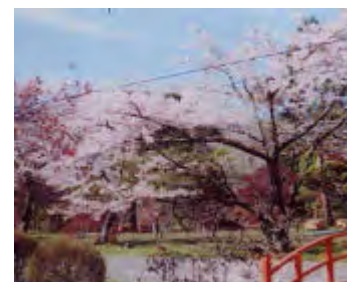
(67) 伊達市・有珠善光寺の石割桜



所在：伊達市有珠町124
交通：JR有珠駅（徒歩15分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：1本
直径：60cm，樹高：8m
問合せ：善光寺
☎0142-38-2007

有珠善光寺は、文化元年蝦夷三官寺(10万石の大名に匹敵)に指定され、僧は江戸芝増上寺から派遣される名僧や傑僧が多く、有珠地区を中心に善光寺文化と呼ばれるほどに、アイヌ民族に大きな影響を与えたといわれています。有珠善光寺の石割桜は老木で腐朽が進行しているために、平成13年外科治療による延命措置がとられています。

(68) 登別市・亀田記念公園のサクラ



所在：登別市富岸町3丁目8
交通：JR幌別駅～バス10分
樹種：エゾヤマザクラ、ソメイヨシノ、サトザクラ
本数：730本
直径：25cm，樹高：6m
問合せ：亀田記念公園管理事務所
☎0143-86-2511

亀田記念公園は、実業家の故亀田光司氏が昭和34年から20余年をかけ、私財を投じて整備した全道でも有数の庭園型公園で、20万6千㎡の広さがあります。昭和57年、市に寄贈され、公園内には、サクラやイチイ、ツツジ、シャクナゲなど約80種3万5千本の樹木が茂り、芝生、小川、池、散策路も配置され、市民の憩いの場となっています。

(69) 白老町・仙台藩陣屋跡のサクラ



所在：白老町陣屋町681
交通：J R白老駅～北西2.5km
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約300本
直径：20cm，樹高：8 m
問合せ：仙台藩白老元陣屋資料館
☎0144-85-2666

安政元年、徳川幕府はロシアの南下政策に脅威を感じて、東北諸藩にエゾ地の警備を命じ、安政3年仙台藩はウトカンベに陣屋を構築しました。その跡地が、昭和41年国の史跡に指定され、指定後、27年の歳月をかけてエゾヤマザクラとミヤマザクラの植栽など、史跡公園として整備が続けられ、併設する仙台藩白老元陣屋資料館とともに町民の憩いの場、生涯学習の場として利用されています。

(70) 追分町・鹿公園のサクラ



所在：追分町白樺2丁目1
交通：J R追分駅（徒歩8分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約50本
直径：10～20cm，樹高：4～7 m
問合せ：追分町ふるさと活性課
☎01452-5-2411

明治35年、日本で最初に保健保安林の指定を受けた林内の一角の公園で、約25haの敷地にエゾシカ牧場、庭園広場、野外ステージ、イベント広場、バーベキューハウス、キャンプ場、町花「赤いヒマワリ畑」など多彩な施設が整備されています。サクラのほか自然の大きな木や貴重な植物を鑑賞しながら森林浴が楽しめ、心身ともにリフレッシュできる公園です。

(71) 穂別町・ほべつ道民の森のサクラ



所在：穂別町字穂別604-3
交通：穂別市街（車で3分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約50本
直径：15cm，樹高：8 m
問合せ：穂別町農林商工課
☎01454-5-2111

地元篤林家の久保田氏がサクラを植栽していたのが発端となり、穂別町がスキー場の造成とあわせて環境を整備し桜並木を作りました。現在、約70haのほべつ道民の森には「サクラ園」などを設け、町内外から訪れる人たちが、季節感あふれる自然豊かな森を体験できるようになっています。

(72) 静内町・二十間道路の桜並木



所在：静内町字田原～字御園
交通：静内駅～6 km（車で10分）
樹種：エゾヤマザクラ，カスミザクラ
本数：約3,000本（直線7 km）
直径：20～70cm，樹高：5～13m
問合せ：静内町商工労働観光課
☎01464-3-2111

この地にあった宮内省の御料牧場を視察する皇族の行啓道路として、大正5年から3ケ年を費やし、近隣の山々からエゾヤマザクラなどを移植したもので、その道路幅が36mだったのでいつしか20間道路と呼ばれるようになりました。「日本一の桜並木」の座を獲得し、薄紅色のサクラがほころび始めると全国各地から毎年たくさんの花見客が訪れています。

(73) 浦河町・西舎^{にしちや}の桜並木



所在：浦河町字西舎141-11
 交通：J R 日高幌別駅～約 5 km
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：約3,000本（延長約 3 km）
 直径：45～60cm，樹高：10～12m
 問合せ：浦河町商工観光課
 ☎01462-2-2311

昭和 8 年，農林水産省日高種畜牧場（明治40年設立の日高種馬牧場から改称）が，サクラを植樹したものです。平成 5 年に廃場になりましたが，牧場跡地は浦河町と J R A 日本中央競馬会に受け継がれ，桜並木もそれぞれの持ち分により維持管理されています。開花時期には，道幅いっぱいにサクラが覆いかぶさることから「サクラのトンネル」と呼ばれています。

(74) えりも町・庶野^{しよや}桜公園



所在：えりも町字庶野553ほか
 交通：J R 広尾駅～バス庶野診療所前下車（徒歩10分）
 樹種：エゾヤマザクラ，カスミザクラ，ソメイヨシノ，サトザクラ
 本数：約700本
 直径：20～50cm，樹高：10～18m
 問合せ：えりも町企画商工観光課
 ☎01466-2-4626

明治中頃，京都の呉服問屋であった北村文四郎が，船便交易の縁で庶野に京風屋敷を建てて移り住み，サクラを松前から運ぶなどして庭園を造成しました。当時の花見時期には屋台が軒を連ね，広尾町などから船を繰り出して数日間の開花を楽しんだというエピソードもあります。その後，地元の人たちで「庶野桜保存会」が組織され，公園管理，サクラの保護育成を続けています。

(75) 新得町・町立自然公園(新得山)のサクラ



所在：新得町字新得 9
 交通：J R 新得駅（徒歩 5 分）
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：2,500本
 直径：15～25cm，樹高：8 m
 問合せ：新得町商工観光課観光係
 ☎01566-4-5111

大正 8 年に新得神社の移転を記念し，境内周辺にサクラの植樹が始まりました。今では2,500本を数え，十勝有数のサクラの名所として町内外の人々の憩いの場になっています。サクラの見ごろは5月上旬で，新得山々頂から360°の広大な十勝平野の展望は絶景であり，自然公園では多くの動植物に出会うことができます。

(76) 清水町・清水公園のサクラ



所在：清水町字清水第 3 線56
 交通：J R 十勝清水駅（車で 5 分）
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：約360本
 直径：16cm，樹高：6 m
 問合せ：清水町産業振興課商工観光係
 ☎01566-2-2112

日勝峠に向かう国道274号線沿いにある清水公園では，樹齢25～30年生のサクラが毎年たくさんの花を咲かせ，町民に親しまれています。公園内にはパークゴルフ場もあり，サクラを見ながら心地よい汗を流してプレーを楽しむことができます。

(77) 池田町・清見ヶ丘公園のサクラ



所在：池田町字清見ヶ丘
交通：J R池田駅（徒歩15分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約600本
直径：25cm，樹高：7m
問合せ：池田町建設課都市計画係
☎01557-2-3111

市街地の東部の丘を「清見ヶ丘」といい、今日なお原始の樹林がそのまま残っています。そうした自然のたたずまいが、町民に長年愛されてきました。公園の入り口には池田農場開放記念碑が建ち、不在地主から搾取された小作人の封建的忍従の歴史を今に伝えています。季節になると約600本のエゾヤマザクラが花のトンネルをつくり、町民の心を和ませてくれています。

(78) 池田町・ニッタの風雪のサクラ



所在：池田町字昭栄
交通：J R池田駅（車で10分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約200本のうちの1本
直径：40cm，樹高：6m
問合せ：ニッタ農林事業所
☎0155-54-2206

サラブレッドの競走馬を育成している新田牧場の入り口から畜舎にいたる道路の両側に、立派な桜並木があります。春先の湿雪で幾度となく押し倒されながらも立ち上がる姿は、苦難に負けずこれに立ち向かう勇氣を示唆している…と感動を受ける人が多く、やがて「風雪のサクラ」と呼ばれるようになりました。この特異な樹形をしたサクラは、牧場の奥の広場にあります。

(79) 帯広市・緑ヶ丘公園のサクラ



所在：帯広市緑ヶ丘2番地
交通：帯広市中心部（車で10分）
バス緑ヶ丘下車
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約700本
直径：20～28cm，樹高：5～12m
問合せ：みどりと花のセンター
☎0155-21-3172

緑ヶ丘公園は、帯広市街地のほぼ中央に位置し、高台のサクラやカシワ林、野草園があり、そこにはいろいろな生き物たちが、時には私たちに姿を見せてくれることがあります。緑ヶ丘公園は、古くからサクラの名所として市民に親しまれ、5月の連休頃には花見を楽しむ多くの市民でにぎわいます。

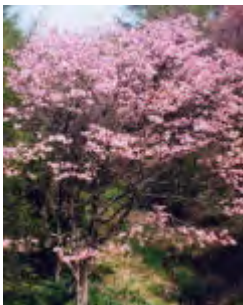
(80) 音別町・憩いの森のサクラ



所在：音別町字音別原野汽船187-4
交通：J R音別駅～17km（車で20分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約150本
直径：15cm，樹高：7m
問合せ：音別町産業課林務係
☎01547-6-2231

昭和35年、旧茶安別青年会・音別第二小学校PTA・地元の人たちが、樹高1～3mのサクラの幼木を持ち寄り、旧音別第二小学校敷地内に植樹したものです。以来、汗して育てたサクラは、現在の「憩いの森」のシンボルとして多くの人々に親しまれ、5月上旬にはさわやかなピンクに染まる名所となっています。

(81) 釧路市・鶴ヶ岱公園のサクラ



所在：鶴ヶ岱1丁目1
 交通：釧路駅～3km（車で10分）
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：約300本
 直径：20～40cm，樹高：8～12m
 問合せ：釧路市公園緑地課
 ☎0154-31-4557

鶴ヶ岱公園は、釧路市内では春採公園に次いで歴史ある公園で、園内には大小約300本のエゾヤマザクラとあわせ、武道館、日本庭園、ひょうたん池、テニスコートが整備されています。なお、公園内にあるエゾヤマザクラ3本（樹齢80～100年生、直径29～38cm、樹高10～12m）は、釧路地方のサクラの開花予報の標本木に指定されています。

(82) 弟子屈町・弟子屈神社のサクラ



所在：弟子屈町高栄2-3-4
 交通：JR摩周駅（徒歩10分）
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：約190本
 直径：20～68cm，樹高：10m
 問合せ：弟子屈神社
 ☎01548-2-2074

神社の鳥居から拝殿へむかう参道沿いの桜並木は美しく、特に拝殿前にあるエゾヤマザクラの老木（胸高直径68cm、樹高11m）は目を見張ります。地元町民の花見の場として親しまれており、サクラの満開時にはライトアップされた夜桜が、一段と華やかさを増しています。なお7月には、社務所中庭内の一面に高山植物の女王といわれるコマクサが咲き、訪れた人の目を楽しませてくれます。

(83) 厚岸町・^{こくたいじ}国泰寺の老桜



所在：厚岸町湾月町1丁目
 交通：厚岸駅～4km（車で5分）
 樹種：エゾヤマザクラ
 本数：1本
 直径：幹周277cm，樹高：10m
 問合せ：厚岸町商工観光課観光係
 ☎0153-52-3131

国泰寺は、徳川幕府が文化元年から2年、東蝦夷地の守備とアイヌの教化を主な目的に蝦夷三官寺（厚岸の国泰寺、有珠の善光寺、様似の等じゅ院）の一つとして建立されました。現在は国の史跡に指定されており、特に敷地内にある老桜樹は、樹齢170年を超える古木であるため、後継樹の育成もすすめられており、町の大切な宝として保存に努めています。

(84) 厚岸町・^{ねのひ}子野日公園のサクラ



所在：厚岸町奔渡町6丁目65-1
 交通：厚岸駅～約5km（車で7分）
 樹種：エゾヤマザクラ，チシマザクラ，サトザクラ
 本数：1,200本
 直径：20～40cm，樹高：5～8m
 問合せ：厚岸町商工観光課観光係
 ☎0153-52-3131

子野日公園のサクラは、大正から昭和にかけて12年間町長であった子野日弘毅氏が私財を投じて植樹したものです。公園は、「一目千本」といわれるほど厚岸町を代表するサクラの行楽地となっており、エゾヤマザクラ、チシマザクラ、釧路八重、厚岸泰山君など20余種のサクラが植えられています。

(85) 浜中町・浜中桜公園



所在：浜中町浜中
交通：J R 浜中駅（徒歩 5 分）
樹種：エゾヤマザクラ
本数：約 700 本
直径：12cm，樹高：3～5 m
問合せ：浜中町茶内支所
☎0153-65-2111

浜中町内で緑化のボランティア活動をしている「チェリープラン21」が毎年サクラの植樹を行い、今では約 700 本が花をつけるほどに成長しています。年々花見に訪れる人が多くなり、公園内にはパークゴルフ場やあずまやも整備され、町民の憩いの場として広く利用されています。また、国道からの両側にもサクラが植えられ、車で訪れる人の目を楽しませてくれています。

(86) 根室市・清隆寺のチシマザクラ



所在：根室市松本町 2 丁目 2
交通：J R 根室駅～1.5km
樹種：チシマザクラ
本数：約 30 本
直径：根元 30cm，樹高：約 3 m
問合せ：清隆寺
☎0153-23-2942

清隆寺の檀家の人が、明治 2 年に国後島から持ち帰り、自宅で 30 年間育てていたものを寺に寄贈したものです。樹齢が 130 余年を過ぎ、樹高が 3 m とゆっくりした成長ですが、歴史の積み重ね、日本一遅咲きのサクラとして根室の風土にしっかり根をおろしています。花は淡いピンク色で、5 月下旬から 6 月上旬に開花します。

(87) 別海町・野付小学校のチシマザクラ



所在：別海町尾岱沼潮見町 220
交通：別海町市街～40km
バス野付小学校下車
樹種：チシマザクラ
本数：1 本
直径：根元 56cm（枝張り周 45m）
樹高：6 m
問合せ：野付小学校
☎01538-6-2013

昭和 39 年ころ、内藤儀一・安達広治氏らが野付半島のキラク街（今では幻の町）から 3 本のサクラを堀取って校庭に移植したもので、そのうちの 1 本が現在も生き残っています。小学校では毎年春にお花見集会を開き、特に平成 13 年は開校 100 年にあたり、このサクラのタネからふやした苗木を全児童が持ち帰り、自宅で自然を育む心を養っています。

桜切る馬鹿

「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」という格言があります。これはサクラは枝の切り口から病原菌が入りやすく、腐りやすいため安易に切ってはいけないこと、一方、ウメは毎年せん定しないと良く結実しないこと、からきた格言です。したがって、サクラは自然樹形で育てることを基本としますが、罹病枝や不要な小枝は、できる限り細いうちに切り落とし、切り口に防腐剤処理を必ず行います。

2 北海道のサクラの名所一覧表

☆印 解説なし

解説番号	市町村名	名	所	在	問 い 合 わ せ 先	電 話 番 号
(1)	札幌市	円山公園のサクラ	札幌市中央区宮ヶ丘	(財)札幌市公園緑化協会	☎011-211-2579	
(2)	札幌市	モエレ沼公園のサクラ	札幌市東区丘珠町605ほか	モエレ沼公園管理事務所	☎011-792-4054	
	札幌市	☆ 北海道神宮のサクラ	札幌市中央区宮ヶ丘474	北海道神宮社務所	☎011-611-0261	
(3)	江別市	野幌神社のサクラ	江別市西野幌155	江別市環境課	☎011-381-1046	
(4)	江別市	千古園のサクラ	江別市東野幌374	江別市環境課	☎011-381-1046	
(5)	松前町	松前公園のサクラ	松前町字松城・西館	松前町商工観光課公園係	☎01394-2-2275	
(6)	松前町	光善寺の血脈桜	松前町字松城303	光善寺	☎01394-2-2680	
(7)	森町	青葉ヶ丘公園のサクラ	森町清澄町	森町商工観光課	☎01374-2-2181	
(8)	森町	オニウシ公園のサクラ	森町上台町・清澄町	森町商工観光課	☎01374-2-2181	
(9)	八雲町	落部公園のサクラ	八雲町落部	八雲町建設課	☎01376-2-2111	
(10)	八雲町	さらんべ公園のサクラ	八雲町栄町	八雲町建設課	☎01376-2-2111	
(11)	函館市	五稜郭公園のサクラ	函館市五稜郭町	函館市緑化推進課	☎0138-21-3431	
(12)	長万部町	長万部公園のサクラ	長万部町字富野	長万部町商工労政課	☎01377-2-2000	
(13)	江差町	逆川森林公園のサクラ	江差町鹹川	江差町農林水産課林業振興係	☎01395-2-1020	
(14)	上ノ国町	花沢公園のサクラ	上ノ国町字勝山	上ノ国町水産商工観光課	☎01395-5-2025	
(15)	厚沢部町	館城跡公園のサクラ	厚沢部町字城丘	厚沢部町企画商工課商工観光係	☎01396-4-3311	
(16)	乙部町	しびの岬公園のサクラ	乙部町汐見	乙部町商工観光係	☎01396-2-2311	
(17)	熊石町	熊石休養村のサクラ	熊石町字平	熊石町水産商工観光係	☎01398-2-3111	
	北檜山町	☆ 玉川公園のサクラ	北檜山町	北檜山町企画商工観光課	☎01378-4-5111	
(18)	蘭越町	尻別川の桜つづみ	蘭越町尻別川豊国橋下流	蘭越町まちづくり推進係	☎0136-57-5111	
(19)	ニセコ町	曾我森林公園のサクラ	ニセコ町字曾我39- 5	ニセコ町建設課管理係	☎0136-44-2121	
(20)	倶知安町	旭ヶ丘総合公園のサクラ	倶知安町字旭	倶知安町住宅都市課	☎0136-22-1121	
(21)	小樽市	長橋なえぼ公園のサクラ	小樽市幸 1 丁目	小樽市公園課	☎0134-32-4111	
(22)	小樽市	手宮公園のサクラ	小樽市手宮 1 ～ 3 丁目	小樽市公園課	☎0134-32-4111	
(23)	夕張市	夕張鹿鳴館のサクラ	夕張市鹿の谷 2 丁目	夕張市農林課	☎01235-2-3131	
(24)	栗山町	栗山公園のサクラ	栗山町桜岡 2 丁目	栗山町商工観光課	☎01237-2-1111	
(25)	岩見沢市	玉泉館跡地公園のサクラ	岩見沢市東山町	岩見沢市街づくり推進課	☎0126-23-4111	
(26)	岩見沢市	利根別川千本桜と山七公園のサクラ	岩見沢市 7 条東 8 丁目	岩見沢市街づくり推進課	☎0126-23-4111	
(27)	長沼町	東庭園のサクラ	長沼町東 6 線北 3	長沼町商工観光課	☎01238-8-2111	
(28)	三笠市	観音山公園のサクラ	三笠市本郷	三笠市農林課	☎01267-2-3996	
(29)	美唄市	東明公園のサクラ	美唄市東明町 2 区	美唄市都市計画課	☎01266-2-3131	
	美唄市	☆ 北海道立林業試験場のサクラ	美唄市光珠内町東山	林業試験場緑化樹センター	☎01266-2-4164	
(30)	奈井江町	にわ山森林自然公園のサクラ	奈井江町字東奈井江59	奈井江町ふるさと産業課	☎0125-65-2809	

解説番号	市町村名	名 所	所 在	問 い 合 わ せ 先	電 話 番 号
(31)	新十津川町	ふるさと公園のサクラ	新十津川町字総進189	新十津川町産業振興課観光係	☎0125-76-2924
(32)	新十津川町	吉野小学校林のサクラ	新十津川町字吉野100-4	新十津川町産業振興課観光係	☎0125-76-2924
	新十津川町	☆ 吉野駐車公園のサクラ	新十津川町字吉野495	新十津川町産業振興課観光係	☎0125-76-2924
(33)	浦白町	鶴沼公園のサクラ	浦白町字キナウスナイ	浦白町農政課商工観光係	☎0125-68-2111
(34)	砂川市	北光公園のサクラ	砂川市西3条北9～10丁目	砂川市土木課緑化係	☎0125-54-2121
(35)	赤平市	赤平公園のサクラ	赤平市美園町3丁目	赤平市土木課管理係	☎0125-32-2211
	赤平市	☆ 赤平市桜ロード	赤平市幌岡	赤平市土木課管理係	☎0125-32-2211
(36)	滝川市	滝の川公園のサクラ	滝川市二の坂町東3丁目2	滝川市維持課	☎0125-23-1234
(37)	芦別市	旭ヶ丘公園のサクラ	芦別市旭町641	芦別市都市建設課維持係	☎01242-2-2111
(38)	歌志内市	歌志内公園のサクラ	歌志内市字本町	歌志内市商工観光課観光振興係	☎0125-42-2058
	歌志内市	☆ 歌志内サイクリングロードのサクラ	歌志内市字本町～文珠地区	歌志内市商工観光課観光振興係	☎0125-42-2058
(39)	深川市	桜山公園のサクラ	深川市一已町字一已1863	深川市商工労政課商工観光係	☎0164-26-2264
(40)	深川市	丸山公園のサクラ	深川市一已町字一已2578-78	深川市商工労政課商工観光係	☎0164-26-2264
(41)	旭川市	旭山公園のサクラ	旭川市東旭川町倉沼	旭川市土木管理課公園管理係	☎0166-25-5375
(42)	旭川市	神楽岡公園のサクラ	旭川市神楽岡	旭川市土木管理課公園管理係	☎0166-25-5375
(43)	北竜町	金比羅公園のサクラ	北竜町字三谷	北竜町農政課	☎0164-34-2111
	幌加内町	☆ 朱鞠内湖畔のサクラ	幌加内町朱鞠内	幌加内町産業課	☎01653-5-2121
(44)	当麻町	当麻スポーツランドのサクラ	当麻町市街6区	当麻町農林課林務係	☎0166-84-2111
(45)	富良野市	朝日ヶ丘公園のサクラ	富良野市御料	富良野市耕地林務課	☎0167-39-2310
(46)	富良野市	東大樹木園のサクラ	富良野市山部	富良野市耕地林務課	☎0167-39-2310
(47)	和寒町	塩狩峠の一目千本桜	和寒町字塩狩	和寒町企画商工課	☎016532-2421
(48)	和寒町	三笠山自然公園のサクラ	和寒町字三笠	和寒町企画商工課	☎016532-2421
(49)	士別市	九十九山のサクラ	士別市東8条北1丁目	士別神社	☎01632-3-2421
(50)	風連町	日進湖畔のサクラ	風連町日進	風連町企画商工課商工労働観光係	☎01655-3-2511
(51)	名寄市	弥生公園のサクラ	名寄市弥生	名寄市管理課	☎01634-3-2111
(52)	留萌市	神居岩公園のサクラ	留萌市字マサリベツ	留萌市都市計画課	☎0164-42-1801
(53)	初山別村	有明サクラロード	初山別村字有明	初山別村産業課	☎01646-7-2111
(54)	歌登町	うたのぼり健康回復村の千本桜	歌登町辺毛内	うたのぼり健康回復村管理事務所	☎01636-8-2772
(55)	利尻町	天然記念物のチシマザクラ	利尻町仙法志（国有林内）	利尻町商工観光課商工観光係	☎01638-4-2345
	利尻町	☆ 利尻町森林公園のサクラ	利尻町杓形字富野	利尻町建設課建築農林係	☎01638-4-2345
(56)	稚内市	稚内森林公園のサクラ	稚内市ヤムワッカナイ	稚内市農政課農林事業係	☎0162-23-6161
(57)	清里町	光岳小学校丸山営繕林のサクラ	清里町字神威1056	清里町立光岳小学校	☎01522-6-2009
(58)	網走市	天都山のサクラ	網走市天都山	網走市観光課	☎0152-44-6111

解説番号	市町村名	名 所	所 在	問 い 合 わ せ 先	電 話 番 号
(59)	津別町	双子の桜	津別町字共和	双子の桜ファンクラブ	☎01527-6-4911
(60)	北見市	金刀比羅山公園のサクラ	北見市常川	上常呂地区総合開発期成会	☎0157-39-3355
(61)	置戸町	南が丘公園のサクラ	置戸町字置戸284-29ほか	置戸町林務商工課観光係	☎0157-52-3311
(62)	遠軽町	太陽の丘えんがる公園のサクラ	遠軽町丸大	遠軽町農林商工観光課	☎01584-2-4811
(63)	上湧別町	五鹿山公園のサクラ	上湧別町字北兵村2区	上湧別町企画商工課	☎01586-2-2111
(64)	滝上町	滝上公園のサクラ	滝上町元町	滝上町商工観光課	☎015829-2111
(65)	室蘭市	富士下のサクラ	室蘭市母恋北町1丁目	日鋼工営(株)建設緑化部	☎0143-24-2744
(66)	洞爺村	老三樹のサクラ	洞爺村字洞爺町	洞爺村商工観光課	☎0142-82-5111
(67)	伊達市	有珠善光寺の石割桜	伊達市有珠町124	善光寺	☎0142-38-2007
(68)	登別市	亀田記念公園のサクラ	登別市富岸町3丁目8	亀田記念公園管理事務所	☎0143-86-2511
(69)	白老町	仙台藩陣屋跡のサクラ	白老町陣屋町681	仙台藩白老元陣屋資料館	☎0144-85-2666
(70)	追分町	鹿公園のサクラ	追分町白樺2丁目1	追分町ふるさと活性課	☎01452-5-2411
(71)	穂別町	ほべつ道民の森のサクラ	穂別町字穂別604-3	穂別町農林商工課	☎01454-5-2111
(72)	静内町	二十間道路の桜並木	静内町字田原～字御園	静内町商工労働観光課	☎01464-3-2111
	三石町	☆ 歌笛神社のサクラ	三石町字歌笛300-1	歌苗景勝地整備実行委員会	☎01463-5-3251
(73)	浦河町	西舎の桜並木	浦河町字西舎141-11	浦河町商工観光課	☎01462-2-2311
	様似町	☆ 観音山公園のサクラ	様似町潮見台1番地	様似町農林水産課林務係	☎01463-6-2111
(74)	えりも町	庶野桜公園	えりも町字庶野553ほか	えりも町企画商工観光課商工観光係	☎01466-2-4626
(75)	新得町	町立自然公園(新得山)のサクラ	新得町字新得9	新得町商工観光課観光係	☎01566-4-5111
(76)	清水町	清水公園のサクラ	清水町字清水第3線56	清水町産業振興課商工観光係	☎01566-2-2112
(77)	池田町	清見ヶ丘公園のサクラ	池田町字清見ヶ丘	池田町建設課都市計画係	☎01557-2-3111
(78)	池田町	ニッタの風雪のサクラ	池田町字昭栄	ニッタ農林事業所	☎0155-54-2206
(79)	帯広市	緑ヶ丘公園のサクラ	帯広市緑ヶ丘2	みどりと花のセンター	☎0155-21-3172
(80)	音別町	憩いの森のサクラ	音別町字音別原野汽船187-4	音別町産業課林務係	☎01547-6-2231
(81)	釧路市	鶴ヶ岱公園のサクラ	釧路市鶴ヶ岱1丁目1	釧路市公園緑地課	☎0154-31-4557
(82)	弟子屈町	弟子屈神社のサクラ	弟子屈町高栄2-3-4	弟子屈神社	☎01548-2-2074
(83)	厚岸町	国泰寺の老桜	厚岸町湾月町1丁目	厚岸町商工観光課観光係	☎0153-52-3131
(84)	厚岸町	子野日公園のサクラ	厚岸町奔渡町6丁目65-1	厚岸町商工観光課観光係	☎0153-52-3131
(85)	浜中町	浜中桜公園	浜中町浜中	浜中町茶内支所	☎0153-65-2111
(86)	根室市	清隆寺のチシマザクラ	根室市松本町2丁目2	清隆寺	☎0153-23-2942
(87)	別海町	野付小学校のチシマザクラ	別海町尾岱沼潮見町220	野付小学校	☎01538-6-2013

参考文献

(根のはたらき、植えかた)

- 1 樹木の根の分布―樹高2m前後の苗木の場合― 佐藤孝夫ほか 1981 日林北支論 30:119～121
- 2 苗木の細根の量と分布 佐藤孝夫ほか 1981 光珠内季報 50:36～39
- 3 緑化樹の据置苗と床替苗の生長比較 佐藤孝夫 1983 57 年道林研論:138～139
- 4 樹木の根の特性と植えかた 佐藤孝夫ほか 1984 光珠内季報 59:11～15
- 5 シラカンバとエゾヤマザクラの地下部の5年間の生長量 佐藤孝夫 1985 日林北支論 34:77～79
- 6 緑化樹木の根系の生長―植栽後5年間の垂直分布と水平分布― 佐藤孝夫 1986 北林試研報 24:21～37
- 7 広葉樹苗の根の伸長の季節変化 佐藤孝夫 1987 北林試研報 25:1～17
- 8 樹木の根の生長と分布特性 佐藤孝夫 1989 光珠内季報 74:8～12
- 9 樹木の根系の成長に関する基礎的研究 佐藤孝夫 1995 北林試研報 32:1～54
- 10 根はいつの時期に伸びるのか?―根端の伸長とその季節変化― 佐藤孝夫 1996 造園 91:8～9 北海道造園建設業協会
- 11 根はどのくらい生長するのか?―根の生長量および地上部の生長量との関係― 佐藤孝夫 1996 造園 92:4～5 北海道造園建設業協会
- 12 根の重さはどのくらい増えていくのか?―根の重量と地上部の重量との関係― 佐藤孝夫 1997 造園 93:14～15 北海道造園建設業協会
- 13 根はどのように広がっているのか?―根の分布の仕方の推移― 佐藤孝夫 1997 造園 94:4～5 北海道造園建設業協会
- 14 苗木の根量が少ないと成長量も少なくなる!―移植が樹体の成長に及ぼす影響― 佐藤孝夫 1997 造園 96:4～5 北海道造園建設業協会
- 15 苗木はいつ植えると良いのか?―苗木の時期別植栽試験― 佐藤孝夫 1998 造園 97:14～15 北海道造園建設業協会
- 16 なぜ移植の易しい木と難しい木があるのか?―樹木の移植の難易性― 佐藤孝夫 1998 造園 99:10～11 北海道造園建設業協会
- 17 土壌が悪いと樹木は育たない―エゾヤマザクラの事例から― 佐藤孝夫

1998 造園 100:12～13 北海道造園建設業協会

- 18 やっぱ根は大切なのだ!―樹木を生育させるために(3)― 佐藤孝夫 1999 造園 103:6～7 北海道造園建設業協会
- 19 画像解析を用いたエゾヤマザクラ幼苗の根系に関する定量的な解析 滝谷美香ほか 1999 日林北支論 47:102～104
- (ふやしかた)
- 20 サクラ亜属の親和性に関する一考察 斎藤晶ほか 1972 46 年道林研論:291～295
- 21 緑化樹の苗木養成法―実生, 無性繁殖の技術(1)― 斎藤 晶ほか 1981 光珠内季報 48:6～16
- 22 茎頂培養によるエゾヤマザクラ成木からの植物体再生 佐藤孝夫 1988 日林北支論 36:84～86
- 23 エゾヤマザクラの組織培養による植物体の再生 佐藤孝夫 1989 63 年道林研論:92～93
- 24 エゾヤマザクラの組織培養における茎頂の採取時期と増殖率 佐藤孝夫 1991 日林北支論 39:17～19
- 25 茎頂培養によるチシマザクラ成木からの植物体再生 佐藤孝夫 1992 日林北支論 40:113～115
- 26 組織培養でサクラをふやす 佐藤孝夫 1992 光珠内季報 87:21～24
- 27 エゾヤマザクラの茎頂培養法における増殖率の母樹間の差異 佐藤孝夫 1993 104 回日林論:603～604
- 28 茎頂培養法によるサクラ登録品種「大雪」の増殖 佐藤孝夫ほか 1994 日林北支論 42:55～57
- 29 茎頂培養法によるエゾヤマザクラの大量増殖 佐藤孝夫 1994 北林試研報 31:77～86
- 30 組織培養によるサクラ類の増殖方法と事業化の試み 佐藤孝夫 1996 北方林業 48:241～244
- 31 組織培養によるエゾヤマザクラの契約栽培 西村和浩ほか 1996 7 年道林研論:120～121
- 32 組織培養によるエゾヤマザクラの増殖 佐藤孝夫 1997 光珠内季報 106:7～10
- 33 茎頂培養法によるチシマザクラ優良個体の大量増殖 佐藤孝夫 1999 北林試研報 36:1～9

- 34 組織培養の実用化の現状―北海道の事例― 佐藤孝夫ほか 2000 林木の育種 196:11～12
- 35 バイテクでみどりづくり―組織培養の可能性― 佐藤孝夫 2000 北方林業 52:45～48

(成長・開花)

- 36 エゾヤマザクラの生長経過 斎藤晶 1978 52 年道林研論:154～157
- 37 エゾヤマザクラの生長経過 (II) 斎藤 晶 1980 54 年道林研論:77～78
- 38 エゾヤマザクラの生長経過 (III) 斎藤 晶ほか 1982 56 年道林研論:81～82
- 39 道内から選抜したエゾヤマザクラの植栽後 13 年の成績 佐藤孝夫 1991 2 年道林研論:98～99
- 40 全道から収集したエゾヤマザクラの特性 (I)―選抜個体別の生長, 樹形および開花状況― 佐藤孝夫ほか 1991 北林試研報 29:33～38
- 41 エゾヤマザクラの開花特性と組織培養 佐藤孝夫 1993 北海道の林木育種 35-2:16～20
- 42 チシマザクラ実生苗の成長量と開花状況 佐藤孝夫ほか 1993 日林北支論 41:226～228
- 43 全道から収集したエゾヤマザクラの特性 (II)―開花特性― 佐藤孝夫ほか 1993 北林試研報 30:68～73
- 44 エゾヤマザクラの開花特性 佐藤孝夫 1994 光珠内季報 94:6～10
- 45 モンゴルに桜が咲いた! (1～4) 佐藤孝夫 2001 造園 109～112:4～5 北海道造園建設業協会
- 46 モンゴルに桜咲く 佐藤孝夫 2001 札幌同窓会報:37 (社) 札幌農学振興会
- 47 カスミザクラとエゾヤマザクラ実生苗の開花特性の比較 脇田陽一ほか 2002 日林北支論 50:82～84

(書籍, その他)

- 48 北国の樹木・花木のつくり方 中内武五郎 1974 北海道林業改良普及協会 291p.
- 49 北国の緑花樹 中内武五郎 1979 緑花社 434p.
- 50 樹木根系図説 荻住 昇 1979 誠文堂新光社 1121p.
- 51 雪国の植栽 1985 (社) 北陸建設弘済会 205p
- 52 北海道樹木病虫害獣図鑑 1985 (社) 北方林業会 223p
- 53 北海道樹木図鑑 佐藤孝夫 1990 亜璃西社 303p.

- 54 366日誕生花の本 瀧井康勝 1990 日本ヴォーク社 344p
- 55 桜をたのしむ 1991 (財) 林業科学技術振興所 195p
- 56 新版北海道の樹 辻井達一ほか 1992 北大図書刊行会 319p.
- 57 原色樹木病虫害図鑑 1995 保育者
- 58 樹木別でわかる病虫害全科 1998 誠文堂新光社
- 59 さし木のすすめ (グリーンメール No.1) 2000 北海道立林業試験場緑化樹センター
- 60 タネで増やそう～サクラ編～ (グリーンメール No.3) 2000 北海道立林業試験場緑化樹センター
- 61 明日の組織培養〈木本植物の機能開発に向けた研究のさらなる展開〉 斎藤 明編著 2001 (社) 林木育種協会 203p
- 62 つぎ木に挑戦～割りつぎ～ (グリーンメール No.5) 2001 北海道立林業試験場緑化樹センター
- 63 新版北海道樹木図鑑 佐藤孝夫 2002 亜璃西社 303p.
- 64 カスミザクラとエゾヤマザクラの開花時期の違い(きたのみどり No.6) 2002 北海道立林業試験場緑化樹センター
- 65 北海道の樹木ベストセレクト 100 佐藤孝夫 2002 亜離西社 223p
- 66 北海道の樹木病虫害獣害診断と防除 (モニター用, CD-R) 2002 北海道立林業試験場・緑化樹センター
- 67 平成13年度北海道の緑化樹木生産状況 2002 北海道立林業試験場緑化樹センター 68p
- 68 緑化樹木使用実績と需要計画―14 年度版― 2002 北海道立林業試験場緑化樹センター 65p

注1 雑誌などの省略

- ① 北林試研報: 北海道林業試験場研究報告
- ② 104 回日林論: 第 104 回日本林学会大会論文集
- ③ 日林北支講, 日林北支論: 日本林学会北海道支部講演集, 同論文集
- ④ 2 年道林研論: 平成 2 年度北海道林業技術研究発表論文集

注2 参考文献は, 主なものを載せました。なお, 林業試験場のホームページ (<http://www.hfri.bibai.hokkaido.jp>) の中にある研究成果文献データベースでは, 当場のこれまでの論文や報告書, 情報誌などの研究成果を検索し, 全文をみることができます。

1 執筆者：

秋本 正信・梶 勝次・勝矢 晃敏・佐藤 孝夫・鹿戸 輝雄・清水口 進・
棚橋 生子・八坂 通泰・脇田 陽一（研究普及会議サクラ育成技術部会構
成員，50音順）

2 写真提供者，編集協力者：

（1）個人：相木 一三郎・川島 敏仁・清水 一・原 秀穂（50音順）

（2）市町村：江別市・松前町・函館市・森町・八雲町・長万部町・上ノ国
町・厚沢部町・乙部町・熊石町・蘭越町・ニセコ町・倶知安町・小樽市・
夕張市・栗山町・長沼町・岩見沢市・三笠市・美瑛市・奈井江町・新十津
川町・浦臼町・赤平市・滝川市・芦別市・歌志内市・深川市・北竜町・富
良野市・和寒町・士別市・風連町・名寄市・留萌市・初山別村・歌登町・
利尻町・稚内市・清里町・網走市・北見市・遠軽町・上湧別町・滝上町・
白老町・追分町・穂別町・室蘭市・静内町・浦河町・えりも町・新得町・
池田町・音別町・釧路市・厚岸町・根室市・別海町

（3）団体等：（財）札幌公園緑化協会・モエレ沼公園管理事務所・（財）旭
川市公園緑地協会・双子の桜ファンクラブ・登別町亀田記念公園管理事務
所・ニッタ農林事務所・帯広市みどりと花のセンター・弟子屈神社

（4）道機関：空知支庁・釧路支庁，渡島西部・檜山・上川南部・留萌・宗
谷・網走東部・網走西部・胆振・日高・釧路・根室各森づくりセンター

3 編集：

研究普及会議サクラ育成技術部会

4 発行：

北海道立林業試験場（平成15年4月発行）